愛國婦人

愛國婦人會機關

毎月五日二十日發行

一部金參錢 一ヶ月金六錢 半年分參拾六錢 全國無遞送料
廣告料一行四拾錢
本號全部禁轉載
發行所 東京麹町區（牛ヶ淵公園）愛國婦人發行所
發行兼印刷人 山澤俊夫
編輯人 手島益雄

愛國婦人會の目的は軍人の遺族及癈兵を救護するにあり

社説

◎本を讀むべし

此度の戰勝の結果、日本人は世界の評判物となりて、軍事に豪らきが如く、すべての事に豪らきものと思はるゝに至りたるは、一應結構のことなれども、有體の所軍事ほどに日本は未だ他の方面に豪らからず、されば軍事上の進步と文明とを並び立てんものと心ある國民のあせるは苦しきもさることながら、誠に賴母敷ことなり。

戰勝と共に日本の婦人も豪らきものとなれり、少くも婦人自ら今は文明國の婦人と對立して一步も讓らざるものと信ずるに至れり。然れども退て考ふるに、たとへ表面上の對等、禮儀挨拶上の對等はあらんも、精神の修養に於ては我が國婦人の彼れに劣る、遺憾ながら實に數等なりと言はざるを得ず、其敎育は甚だ程度低く、中には全く敎育らしき敎育を受けざる者も少からず、戰爭中婦人は誠に良く働きたるも、共働きたる、寧ろ手足の働きにて、頭を使ふことは大抵男子が引受けて爲したるが如し。文明の生活は頭の生活にして、手足の生活にあらざるを思へば、今後の婦人は修養を怠るべからず、それには本を讀むべし、寸陰を利用して本を讀むの癖を附けるべし、西洋の中流以上の家庭には、大槪文庫ありて、座敷の一隅を飾り、主もに婦人に讀まれ、またその本の種類にて、婦人の趣味嗜好も分ることとなるが、日本にては家庭文庫を備ふる家少く、婦人と書物とは萬世よりの仇の如き觀あるは甚だ遺憾のことなり。

尤も中には好んで讀書する人もあれど、何を讀むかと見てあれば、多くは探偵小說、お家騷動、若しくは近頃の三文文學にて、墮落の栞とこそはなれ、人格の修養となるものにあらず。書を讀まば、永久の價値ある典書を讀むべし。現在は短く、過去は長し、從て良き書は多くは古書にあり、書によりて、獨り吾人は古來の偉人哲士に接し、これと共に語り、其靈妙なる感化を受くるを得べく、讀書生活に於て、人はその時代以外別に廣大なる生活を營むを得べし。最も賤く貧しきものも、讀書の力だにあらば、古今の大人物を仲間となすを得るも、讀書の力なきものは、如何に美服あり、馬車あるも、此精神的極樂の門は長へに鎖されあるなり、讀書は敎育あるもの、特權なりこの特權を得る能はざるものは、最も不幸なるものに屬す、顧て我が國婦人を見るに、此不幸の生活をなすもの頗る多きか如し、文明國の婦人は此の如くなるべからず、これ戰勝に伴ふ婦人の名譽ならんや。今後の婦人は本を讀まざるべからず、婦人の人格の高上、趣味の精練、意義ある生活の爲に、好んで書を讀むこと尙食物の如くなるべし。一國の婦人がただ着物や帶の物質的要求に滿足して、精神的要求を滿足せしむべき書物を好愛せざる間は、その文明なるものもまた知るべきのみ。

◎本會の光榮

曩に本會々長及評議員たる貴婦人の、東北及び四國地方に、會務を以て出張盡力せられしこと、畏くも皇后陛下の御聽に達し、拜謁を賜はり、難有き御言葉さへ下させ賜ひしと承はる、これたゞに貴婦人の光榮たるのみならず、本會及び會員一般の光榮なり、皇后陛下の殊に本會の役員を召させ玉ふ思召のほどを感佩し奉りて、會及び會員たるものは一層の奮勵を以て會の事業を發達進捗せしめ、以て此難有き思召に奉答する所なかるべからず。

◎國力と國語

國語の傳播は最も良く國力の膨脹を示すものなり、英語は世界に最も廣く通ずる言語なり、而してそが英米兩國人の話す言葉なるは、偶然の一致にあらずして、兩國民の勢力範圍の大なるを事實上證明するものなり、我が國に英語の行はるゝも、畢竟國家の繁榮個人の利益上英語が一番役立てばなり、我國に於ける外國旅行者には英米人多きが故に、英語を話すものは、通辯しても生活するを得れども他の國語はこれほどの役に立たず、自然學ぶ者も少き理なり、賣店も英語の看板を出せば、顧客を引き安く、又餘程進步せる當世風の店と見らるゝが故に、市內の店屋には今は英文の看板著しく增加し尙益增加せんとするの勢なり、こは一方よりいはゞ、日本が英語を採用したるものなれども、一方よりいはゞ、英米の勢力の膨脹に連れて、英語が侵入し來りたるものといふべし、戰勝の結果今度は逆に此方より日本の看板を英米始め外國に出させたきは山々なれども、今はたゞ言ふて樂むに過ぎざれば、せめては朝鮮、滿洲、樺太を始め、東洋には日本語の看板が至る所に見られ、從て日本語が話さるゝやうなしたきものなり。それには男子もさることながら、婦人が海外に出て裏門より向ふの家庭を日本化すること大に役立つべしと思ふなり。

本會へ金壹萬圓を寄附したる王化成氏同夫人

◎世界の大勢

是からの婦人は火吹竹にて天を覗くが如き狹き了見にては困るなり、世界の大勢にも一渡りは通じて、社會の問題にも注意せざるべからず、即ち新聞を讀むにも昨日は何處に駈落ありしか、首縊りありしかを讀むを樂みとせずして、一面二面の內外電報、社說などにも眼を注ぐべし從て婦人の話題もお天氣で結構ですとか、猫が子を生んだとかに限らずして、國家社會の重要なる出來事に就て兎に角自分の意見が言へる位にはなりたきものなり。

◎殉職の看護婦

此度の戰爭に於て彼我の傷病兵を看護して、身もまた病毒に感染して、職に殉じたるの看護婦數十名ありと聞く、世間はたゞ表面の戰爭にのみ注目して、裏面の一層恐るべき戰爭あるを知らず、病毒と砲丸、其死地に身を曝すは一なり、而して其一方は世間に持囃さるゝこと此の如くして、他方の忘らるゝこと此の如きは何ぞや、况んや其可憐の婦人なるをや、志あるの同性は、行きて其遺族を慰め且適當なる名譽の彰表及び救護をなすべし、斯る時こそ婦人同志の情は現はるべきものにあらずや。

◎運動會

今や天高氣淸きの候、今日は彼所明日は此所と運動會の頻りに催さるゝは喜ぶべく、殊に近年益盛となるの傾向あるは一層賀すべきことなり、然れどもそは不相變學校生徒の運動會にして、中年以上の婦人のたゞ見る一方なるは物足らぬ心地するなり、運動は生徒の特權と定まれるにあらず、細君など私に組合を作りてローンテニスの一つ位は行ふやうにならざるべからず、充分の庭園を有するものはコートを設けて、家內中にて行ふべし家庭の樂みと健康を增すこと受合なり、運動嫌ひの婦人計りでは丈夫なる米國の國民は出來るものにあらず、婦人は國家に對する間接の義務を心得て運動せざるべからず。

◎伊勢の行幸をかしこみて

評議員　中山幸子

大君の大み心をよせられて
あまてらす神もいさみますらん

電話番町五百二十番　本號には附錄として大山理事、清浦、西鄕評議員の肖像を添ふ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎西藏風俗

寺本婉雅

◎食事の模樣　先以て茶の事からお話し致しますが茶の性質は番茶の惡いので葉が大きくて柚の入りが多い其色は眞黒である併し黒い程彼等の好みに適する夫れから其茶を煮る法が甚だ妙なので花火筒の樣な物にバタと鹽とを混交せしめて一種の味噌汁の如きものを作りそれを茶碗に入れて客に饗するのであるが客は談話の盡くるまで幾杯となく茶を啜り主人は茶を多く勸める程客扱ひを鄭重にするものとし尚其茶の中に入れるバタ又はミルクの濃い薄いに依て客扱ひに上下の區別をして居ります。

◎茶は唯一の食物　茶は東部西藏及前藏後藏一般の西藏人の食物の重なるものとなつて居て茶は藏人の生命を繼ぐ唯一の物である其他食物としては麥焦及び麵類もあるが是れは茶の副食物と見ても差支へない西藏の農産物は烏麥小麥等より外に重用のものは一も産しないラッサーには大根葱白菜等四五種の野菜類はあるが他國に比して野菜は最も缺乏して居る夫れ故に茶がなくては麥焦に味を付ける事も出來ない次第である。

◎茶の輸入　茶は大概支那四川省の牙洲天全島の地方より打箭爐を經てラッサーに輸入せられ輸入の方法は打箭爐まで支那人に依て運ばれ夫れより奥は西藏人が運搬するのであるがラッサーに於ける茶の賣買は最も大なる商人の營む所であるが而して此茶は野牛又は馬の背に依て數千里の山河を運び來るのである。

◎麥焦　麥焦を製するには畑より收穫したる小麥若くは青稞を洗ひもせず其儘に太陽に曝して多少砂を漉して釜に入れて煎り之れを臼にて挽くのであるが其臼とても水車を用ゆるでもなく日本の如き大きな石臼でもない茶臼の如きもので手挽きにして作る富貴の者は家で各自に作るから香味も高く清潔でもあるが貧者は露店に依て之れを求め其日の糊口を過すのであるが斯る下等の分は籾殻が腮に附着して居る、私共には食ふ事が出來ない。

◎西藏人の性質　西藏人の氣質は麥焦を秤る上にも顯はれて居りまして三日月なりの斗器を用ゐる爲に桝目の四五分は省かれて仕舞ふと云ふ有樣である前藏は後藏よりも麥焦の價が高い是れは前藏の首府は人口の多きと地味が惡い爲めであるが後藏は土地が豐饒で人口が少ない從つて人民の氣質も温順である。

◎食事に依て新敎と舊敎の差があります　麥焦の食ひ方は茶に依て新敎舊敎派別かる。其譯は茶を啜つた後で茶碗の底に殘つた茶汁で麥焦を練るに其練り方も左に椀を持ち右の手の五指を用ゐて麥焦を練り同時に左より右に其茶碗を回轉するのは新敎に屬し右より左へ回はすのが舊敎に屬して居る之れは靈廟靈地を巡禮する場合或は法輪を轉ずる場合も皆此規定に依るので若しこれを誤ると直ちに外人視せらるゝ憂ひがあるのであります。

◎麥焦の食し方　麥焦は小量の茶の中に投じて水分の含むか含まぬか位ゐに浸して手の先で善く掻き交ぜて之れを握つて口に入れるのであるから若しこれを食ひなれぬ時は水分の少量なる爲に口の中に這入らない私も誤つて茶椀の中に半分の茶を入れて麥焦を掻き交ぜた時に水分が多くて手に握る事が出來ない其處で西藏人が詰問して云ふには汝は何處の人である蒙古に如斯風俗ありやと聞かれて甚だ閉口した事がありました。

◎婦人の前掛　麥焦を婦人が練る時は必ず前掛の上で練つて膝の上に落ち散りたる粉は再び手で掻き集めて椀の中に投じ共に之れを食ひます食ふた後ち掌や指が白くなつて居るのを兩手で摩擦して擦り落し尚殘りある時は裾及び膝で拭き落すから前掛や膝は一種の布片の代用をして居る斯くして一椀を食ひ終れば主婦は必ず茶を注ぎて客に勸むそれが濟むと又麥焦を食ふ事前の通りである。

◎麵類　麥焦は茶菓に似て非なるもので間食にも食事にも兼用する朝及び晝は茶と麥焦夕食の時富者は麵類を食ふが貧者は此限りでない麵と云へばとて日本流のものでは無い一尺四方大の木版上に適宜の麵粉を置き水を多量に入れて練り双手で長く延ばして掌で之れを切り蜆の如き形態に作りこれを沸騰せる肉汁の中に投じ少量の鹽分を加味し煮上りたるを待つて食ふのである麵と云ふも名のみで煮込みに類して居るのであります。

◎肉類　肉類は人戸の割合に蒙古より西藏の方が少なくて且つ高價である野牛羊肉類は肉質が粗くて美味でない故に客を饗應する場合にも肉は僅に二三斤を調へて總ての客に配分すると云ふ程である是れを購ふにも骨と共に目方にて買ひ麵を作るに骨も身も混ぜて煮骨は槌又は石にて碎き髓を取つて食し犬に與ふる餘地さへなく關節なれば二つ又は三つに割て箸にてほじり出して髓を食ひ箸の先き又は指先に附て居る髓を顏面又は手首とか足先きとかに塗る是れは皹を防ぐ爲めだと云つて今では慣習となつて四季共に行ふて居る。

◎婦人の化粧法　ラッサーの婦人及び男子はバタ及び右の髓を顏や脚部に塗つて終身沐浴をする事はありません併し上流社會になると年に一回夏期に水温かな川邊に於て水浴をする風があります婦人は毎朝顏を洗ふけれども黒光りに光つて居ります尤も近來は印度よりして石鹸が輸入され其功能を覺つて顏面と手足丈けは洗ふやうになりました。

◎報國婦人會の事業

伯爵夫人　樺山登茂子

◎沿革と其目的　戰爭が始まると同時に我々婦人も飽食暖衣して居る可きでない働かれる丈け働いて陸海軍人の後援をしたいと云ふので同志の御婦人方と共に昨年の四月一日よりして報國婦人會なる者を組織したのでありますが其目的は婦人の手藝とも云ふ可き裁縫に依つて恤兵金を調へると云ふので軍人の着るシャツの裁縫を始めたのであります。

◎金を作り出す會　家庭の費用を節して金を貯へると云ふ事も容易の事ではありませんが夫れよりは尚ほ一層の困難は自分で金を作り出すと云ふ事であります報國婦人會は卒先して此困難なる事業に當りましたシャツ一組の裁縫賃は僅かに金拾五錢五厘づゝでありましたが此工料が積んで遂に千三百圓の大金を陸海軍の恤兵部に納める事が出來ました。

◎質素と力行　本會は各婦人の勞力を提供して軍國の爲に盡くさうと云ふのでありますから得る處が費す處より少ないやうでは成立せぬと云ふ考へからして會員は百八十人程ありまして何れも上流社會の婦人でありましたが會へ出るには人車に乘らず衣服も質素なる仕事着を着て所謂汗水を流して戰爭中働いたのでありますが本年九月平和條約の締結と同時に此會を解散致しました尚ほ此會を紀念せんが爲に毎年四月一日を期して會員一同集まり茶話會を開く考へであります。

◎十分談片

◎内務省書記官井上友一氏　白河樂翁公の言ふた言葉に饑饉は人心一新の期と云ふたことがあるが凶作がある依つて人も奮發するものであるから東北の凶作でもあながち悲觀すべきでない之が救濟策としては第一に農家の副業を奬勵すべきである凶作の爲に饑饉に陷ると云ふのは畢竟平生に副業がないからである第二は事業を起す事である貧民を救ふ方策は或る仕事を與へるのが一番である第三は商人の義氣に依賴するのである日本鐵道當りでは凶作地へ米の運搬費を半減する事になつたが運搬費のみならず一般の商人が同地方へ物を賣るには利益を多く取らぬと云ふ事にせねばならぬ第四は購買組合を設けて品物を安く買ふ事を計らねばならぬ第五は一般國民の義捐によらねばならぬが義捐金と雖も現金救助に充てず事業に充てる事が必要と思ふ以上の五項をよく守つたならば禍を轉じて福となす事が出來ると思ふ。

◎辯護士濱地八郎氏　私は此度農商務大臣の代理として訴訟用で京阪地方に旅行致しましたが其節有名なる彼の楠公父子訣別の舊跡たる櫻井驛を態々探ねましたが此處は僅に三坪許りの處で周圍に石の玉垣を圍らしてあるがそれも崩れかけ實に殺風景の有樣で其中に只一つ自然石に疊の大阪府權知事渡邊昇氏の筆で楠公訣別の松の處と書き記しある丈けで子別れの松とても申さうか其傍らに在る松の大木も今は枯れはてゝ實に哀れな有樣になつて居ります斯の如き土地は日本民族の敎育の資に供すべき靈地とも見る可き處で最も大切に保存せねばならぬ處と思ひますがこれらは將來國民の母となられる貴會の貴婦人方の手に依つて相當の保存方法を立てられたらば何うかと思ひます。

◎家庭學校主　留岡幸助氏　貴會の事業として一つ御勸め致したいことがあります夫れは外でもありません陸海軍人の爲に勞働紹介所を設ける事であります今や數十萬の軍人は凱旋致しますがこれが過半も除隊になると職業を見付けるのに苦しむに相違ありません其處を會が助けて各々其所を得せしむると云ふは活きたる慈善の一つと思ひます

◎凱旋

陸軍步兵中佐　伊豆凡夫

國の光りを擔ひつゝ
勇みて歸へるみいくさを
わが亡き友のはらからが
迎ふるこゝろいかならむ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說

名工の妻

堀内新泉

「良人、最う繪絹が大分溜りましたよ、少しお畫きなさいませんか」

このまあ貧乏仕切つた中に、こゝ二月あまりと云ふものは、たゞ一枚の繪も畫かず、毎日糸の切れた凧のやうに、ぶら〳〵として居る夫に向つて、さすがに我慢強い細君も、到頭魂負して、一日のことに斯う云つた。

まだ四十には、片手の指の數程も間のある名工は、浮世を他所に椽先で、我が兒の獨樂を廻して遊んで居つたが、細君に一當あてられて歎息し、

「さて〳〵藝術に仇をする惡魔の多い世の中だ!」

「オホヽヽまあ、惡魔とは餘りお酷いですね!」

「ナニ、まだ惡いかも知れん」

智もあり、情もあり、意も確に強さうな、併し何處と無く愛嬌に富んだ細君は絶えず夫に笑顏を見せて、

「私だつて良人、こんな事は申上げたくは無いのですが」

「つまりお金が欲しうございますと云ふんだらう」

「善く御存知でありながら、眞個に餘りお酷いですね!」

藝術には、おそろしく熱心だが、時々無理な事を云つては細君を困らせる。

「ぢやアお前は全體こゝの家には何しに來たんだ? たゞ花電車のやうに綺麗に飾つて、お嫁さんに來たばかりぢやあるまい。それには何か女子の天職、即ち或る確な任務を帶びて來て居る筈だ」

「オホヽヽヽ良人、今更そんな六ケしい事をおッしやいましても」

「ナニ、六ケしい事ぢや無い!、イヤ、お前の了簡は兎に角、私がお前を貰つた希望は、ソレ米だ、イヤそれ味噌だ、と云ふやうな世話はお前に一任して、自分は一生懸命に好きな繪を畫く積りだつたが、この節のやうに、さう、金、金、金、と云はれては、此方は大いに當違ひだ!」

細君は微笑して、

「だつて良人、それは御無理ですよ」

「ナニ、ちつとも無理な事は無い、それを無理と云ふやうぢや、お前は人の細君たる可き資格が無いんだ」

細君は決していやな顏はせぬ。何處までも清く笑つて、

「何うも誠に相濟みません!」

「ぢやア、相濟むやうにすれば宜いぢや無いか」

少しは無理だと思つたのか、畫伯も微笑を禁じ得なかつた。細君は笑ひながら切込んで、

「それは最う良人のお職業は、他の事とは違ひまして、いくら畫かうと思召しても、時の氣合と御相談の上で無ければ、決してお出來に爲らんと云ふ位のことは私も善く存知て居りますが、それにしても近頃のやうに餘り遊んでばかり居らしては、臺所の鍋やお釜が色々な事を申しますので、私も眞個に困ります」

「そんな時には、斯うして居るのが一番宜いよ。ごらん!」

畫伯は兩手に強く耳を掩ふて見せた。

「御串談をおッしやら無いで、良人一枚でも好うございますから、何うかお畫き下さいませんか」

「ぢやア何んでも關はん、色料を塗つて、いくらでも宜い、お前は私に金を取れと云ふんだね」

「イエ、左樣ぢやございませんか」

「ナニ、左樣に違ひ無い。所が私をして、若し藝術家の細君たらしむれば、喩へ何んな艱難を堪へ忍んでも、我が良人をして、最も好い繪を畫かせる事に力めるね。お前達の考へでは、私が筆を執つて、毎日繪絹に臨んで居らねば、空しく怠けて居るやうに思ふてあらうが、既に筆を執つて繪絹に臨んだその時は、膳に向つて箸を執つたやうなものだが、何んぞ知らん、眞の苦心は、その前の料理に在るんだ!」

斯う云はれて見れば何んにも云へん。如何にも近來我が夫は、或る大作を成さんが爲に、毎日ぶら〳〵して居るやうでも、その實毎日、イヤ寢た間の夢にも我が道に心を寄せて、意匠慘憺經營にうき身をやつして居るのである。

たゞ相撲取ばかりでは無い。如何なる男を夫に持つても、皆各自に定めて骨は折れるであらうが、特に藝術家(眞に藝術を重んずる)の妻などは、その夫たる可き人が、名工に成れば成る程、また一トしほ骨が折れるであらう。細君は心窃に歎息した。

「アヽ、何時に成つたら畫かれるだらうか」

今年も既に冬に成つて、殊に今日は今にもハラ〳〵時雨が降つて來さうである。畫伯は物を云ひやめて、天の景色を瞻て居ると、一列の雁が北から羽音高く見はれた。

「オヽ!」

その兩眼は雁の行方に凝然と凝つたが、忽ち快然一笑し、

「さう、畫かう!」

細君も嫣然として速に起上り、久方振て筆洗に、我れ先づ白い手をかけた(終)

◎フランシス孃

鎗山郭公

フランシス孃の父は、ウイスコンシンなるジエーンビルに居を構へ、自ら森林の家庭と稱し、子女に純潔なる敎育を施し居りしが、孃と其妹とをエバンストン大學に入學せしめんと欲し、其地に移住したりしも、爾後不幸續發して秋風落莫、唯其母と孃とを殘すのみ、此に於て孃は母校敎員となりて一千八百五十八年より同七十四年に至るの間、熱心と親切とを以て生徒を待遇し、指導し、以て漸く自活するを得たり。

一千八百六十八年エバンストンの婦人社會にて、一大女學校設置の企圖あり、孃は爲に東走西奔して、此の設立を助け、自ら其の校長となり、漸次盛大に赴きつゝありしが、一千八百七十一年十月大火ありてシカゴ全市を灰燼となし、此災厄全市に係り、孃の苦心亦た烏有に歸したり、再建の望なきを以て、孃は此より方向を一轉して、婦人矯風會に從事するとなれり。

矯風會は一千八百六十七年に起り、十字軍と稱し、種々の方面に其業を執れり、孃大に之を贊成し、自ら出獄人の保護、或は貧民傳導等の實況を視察し、又日夜矯風演說をなし、大に助力したりしかば、一千八百七十四年シカゴ婦人矯風會々長に選擧せらる、此時孃は一金の貯へなく、頗る不如意にして午餐をすら廢したること屢々なりき、斯く貧窶を極めたるも、孃は之を人に語らず、自ら清貧に甘んじて慈善の爲には勞と財とを惜まず、或時は指環を、或時は時計の鎖を賣却して之に充つるを常とせり、斯の如く熱心なりしかば、數年にして米國婦人矯風會の幹事に推選せられ、次て一千八百七十九年同會々長に選擧せられたり。

是より先き、英國にてウイリアム、ステッドと稱する人、彼の陰々たる魔窟の裏に戯るゝ墮落婦人の慘狀を發きて、白十字旗の下に是等の墮落婦人を救はんとせり、孃も亦先年巴里にて多くの娼婦を目擊し、深く感ずる所ありしが、彼此聯想して是等の墮落婦人を救はんと欲し、米國にも又此の白十字旗を樹つるの運動を初めたり、此れ我が日本國の救世軍なり。

米國婦人矯風會は愈々盛大となり、擴張に擴張を加へ、遂に萬國婦人矯風同盟會となり、遊說員を濠洲、布哇、東亞諸州に派し、一千八百八十三年に至りて其組織全く成る、而して其事業は監獄改良普通敎育の完成、婦女風俗一般の改革、醜業婦の撲滅、萬國平和運動等殆んど社會萬般の改良を企圖するにあり、孃は米國婦人矯風會々長として、又萬國婦人矯風同盟會々長として、能く拮据斡旋し、勞を厭はず前後十七年の星霜を經て一錢の俸給を受けたるとなし。

一千八百九十八年孃はニユー、ヨルクの客舍に長逝せり、時に年五十八、孃は人の母たり、又妻たるの資格は無かりしも、尚ほ大なる志望を以て生れ來りしなりとは當時孃に對するの評言なりしが、實に然り、孃は人の母たらずして國の母たり、人の妻たらずして世界の妻たりき。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

小兒の家庭教育（一）

ドクトル　川瀨元九郎

小兒が四五歲位になりますと「これは何です」とか「どうしてですか」とか、色々の質問を起すものであります、小兒は無頓着でありますから、兩親が客に應接して居る時でも、女中が仕事を熱心にやつて居る時でも、書生が一生懸命勉强して居る時でも、斟酌はありません、疑問が腦中に湧て來れば直に年長と見れば質問をするものであります、問はれた方では大に職務を妨げられて閉口することがある、それで往々「うるさい」「やかましい」とか小言を食ふて、小兒は遂に疑問をはらさないで終ることがあります、吾々は各職務があるから、何時でも勝手に小兒が質問の爲めに妨げてくれては困るのであります、しかし、溫容を以て「今は急がしいから後でよく話しをしてあげます」といふて親切に取扱ふがよろしいそれが爲め十分も二十分もかかるのでありません、そしてよき機會に小兒の疑問に對して充分に說明してやるがよい、これに依て小兒の精神の發達を助けることが出來ます、小兒でも一個の人間であるから禮を以て取扱ふがよい、小兒は不親切な言行を大人よりも一層不愉快に感ずるものであります、且質問はして惡いものと了解するかも知れませぬ、故に年長者は此點に十分注意しなければなりませぬ、若し又自分が何か用をなさんとするときは、前以て小兒に來てはならぬと命令しておくがよろしい。

小兒を敎育するには親切慈愛と忍耐といふことが緊要であります、小兒には理會力があるから時間を與へて親切に談話をすればよく了解するものであります、然るに自分の都合で吾々は時には小兒に對して、自分の小兒であるといふ考で壓制的にやることがある、親子兄弟の愛情を害し冷淡になるは極めて宜しくありませぬ、若しも他人であるならばそんなことは言はないで辛棒することでも、小兒であると勝手な言行をなすことがある、愼むべきことであります、小兒とても自分と同等のものと同樣の禮を施し、其上に保護指導する責任があると思つて取扱へばよろしいのであります。

◎笑ふ兒と泣く兒

久津見蕨村

◎笑ふ兒を見れば喜び、泣く兒を見れば厭はしく思ふのは、世上一般のことのやうです。けれども兒童の心理を分析して見たならば、嬉しいから笑ひ、悲しいから泣くとのみは定まりません。

◎この兒は能く笑ふと云つて、こそぐつて笑はせて面白がる人があります。斯う云ふときに子供のキャッ／＼と笑ひますのは、多くは嬉しくつて笑ふのではありません。こそばくつて笑ふので其實は苦しくつて笑ふのです。

◎『何にが悲しいのだへ。何にも悲しいことはないぢやないが。エ、能く泣くことね！。蒼蠅兒だ』。と忽ち怒り出す母親があります。そうすると子供は猶泣き出します。

◎斯う云ふときに泣くのは、多くは悲しいからではなくて、腹を立てゝ泣くのです。ですから親が怒ると子供も亦ますます泣き出します。詰り益す怒るのです。それを知らんて、親は愈よ怒る、兒は亦愈よ泣く。これでは兎ても急には泣き已ませることは出來ません。

◎總じて子供の未だ口の利けません內は自分の情を表はしますに、笑ふと泣くとの二つよりしか方法はありませんのです。ですから笑ふのにも何通りか種類があり、泣くにも色々別があるのです。それを一概に一所にして、笑ふから嬉しいのだ。泣くから悲しいのだとするのは大きな間違ひです。

◎兒を持つた親御達は能く此邊のことを御存じなければなりますまい。お腹が痛いので泣くのか。空腹で泣くのか。立腹で泣くのか。寒いので泣くのか。能く其泣きやうと泣く場合とに注意すれば畧ぼ分かる筈ですから、玆に十二分の注意をなさらんければ成るまい。

◎笑ふ兒が可愛て、泣く兒が惡らしいは一般の人情ではありますが、笑ふにも泣くにも色々區別がありとしますれば笑ふ兒と泣く兒と決してそう愛憎を分つべきてはありません。

◎笑はせて害になることもある。こそばかして無理に笑はせるのはこれてす。泣かせて爲になることもないてはありません。泣くが爲に身體の運動になることのあるはこれてす。詰り笑ふと泣くとは子供（滿二歲未滿）の表情術です。親は之に依つて能く子供の心を酌み取つてやらなければなりません。

◎我家の實驗

農商務省商工局會計課長　松岡辨氏夫人談話

◎物を安く買ふ工風　家庭に於ける日用品を最も廉價で買ふと云ふ事は主婦たる者の專ら勉む可き事であります其方法の一つとして私共の宅では現金買ひを行ふて居ります且つ小賣店で買はないで可成く卸商で一度に澤山買ふ事にして居ります米は深川の或る問屋から一俵づゝ採りますが桝目も正しく價格も安くあります炭は埼玉の奧から取寄せますが市中の價よりは運賃を差引きましても餘程安く付きます薪は伊豆の方から取寄せて居りましたが竈に寸法が合はぬ爲に唯今では市內の問屋から買ひます野菜は近在の百姓に賴んで芋でも牛房でもなるべく土の着いた儘て買ひ其儘之れを土に埋けて保存すると何時までも靑くて居ります。

◎西洋服　私の家庭では小供の着物は一切洋服と定めまして私が裁縫して着せる事に致して居ります洋服と申しても地質は安くて仕立賃が高いのでありますから自分の處で裁縫が出來れば和服より餘程安く付きます且つ時間が經濟になります和服にすると二三人の子供がある家では常に仕立直したり洗つたりするのに針仕事は絕へぬ程でありますが洋服なれば丸洗ひも出來仕立直す事が少なくて家庭に時間の餘裕が出來ます。

◎和洋兩服の利害　洋服は經濟上の利益よりも體育上甚た利益があります何故かと申すに洋服は總て鈕で要所を止めますが日本服は概ね紐で止めますから小供の發育を害し現に近所の小供と私共の小供とを比らべて見ますと確かに發育上の差違を認めることが出來ます。

◎廢物利用　何處の家でも主人は大概今日では洋服でありますが洋服の古いのは古着屋に拂つても三文の價さへありませぬが私はこれを小供の洋服に仕立直して着せます大人の一着で小供のは二着位ゐ作られます其他私の古い吾妻コートなどを利用致す事も出來て甚だ調法です。

◎洗濯日　私は月曜日を以て洗濯日と定め家庭に用ゆる布片假令ば椅子の覆ひから敷布便所の手拭に至るまで一切纏めて洗ふ事に定めて居ります私は布片は總て白色を用ひて居りますから洗ふ布が澤山にありますがこれを洗ふと申しても實は煮るので大きな野釜に入れて石鹼に少量の石油を混ぜて煮ると眞白になつて別に濯がないでも立派に洗濯が出來ます

◎新案カルタ形家計簿の樣式と其記載方

年末に近いて來ましたから來年からは如何なる家計簿を用ゐたら最も簡單に且つ間違ひなく記帳が出來るであらうかと云ふ事は家庭を司られる皆さん方の苦心して居られる事と思ひます當發行所でも餘程以前より善き家計簿を作りたいと思ひ會員より家計の現況報告を受けたり又は親しく家庭に入つて其現況を視察したりした結果今般廣告にある如きカルタ形家計簿を作りました。

カルタ形式は一名カード式と申して西洋に專ら行はれ西洋簿記式よりは尚簡便であるとの評判よりして今日では日本に於ても實業社會の帳簿も段々と此カード式に變更されます次第でこれを家計簿に應用するは當發行所が始めてであります。

新案カルタ形家計簿雛形

月日	費目	支拂額			備考
		円	錢	厘	

右の式で百枚を一綴として葉書大のものとして紙質をよくして裏表に同一の記載が出來るやう拵らへてあります。

これを應用する工風は需用者の適宜でありますが（其一方法）は科目毎に袋を作つて置き金を支拂ふた度毎に科目と金額と支拂先とを記載し之を其袋の中に投入して置き月末に計算するのであります（其二方法）としては臺所の柱に柱曆の如くぶら下げて置き鉛筆を附けて置いて金を拂ふ度毎にこれへ書入れるのであります（其三方法）としては据火鉢の抽斗しに入れ置き支拂ふ度毎に記載し一日分づつ切り放し記載した分は他の抽斗に伏せ置き一ケ月の終りに總ての科目を計算する等最も便利かと思ひます其他電車等にて市中の買物を爲す際一枚携帶すれば重寶かと思ひます。

投稿募集

◎如何にせば物が安く買はれるか

〆切——十一月二十八日限り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎愛國婦人會記事

◎會員宮中に召さる

曩きに本會々長公爵夫人岩倉久子及評議員東鄕鐵子氏等の一行は東北地方に同理事侯爵夫人大山捨松及評議員男爵夫人淸浦錬子氏の一行は四國地方に會務を帶びて出張せられしこと畏れ多くも皇后陛下の御聽きに達し去る六日午前十一時一同を宮中に召されしが岩倉會長には病氣の爲め大山、淸浦、東鄕の三夫人參內陛下に謁見の上夫れ〳〵巡回地方支部の盛況幷に病院に傷病兵を見舞ひたる狀況癈兵遺族を慰問したる事等詳細上聞に達したるに皇后陛下には愛國婦人會の熱心なる活動に殊の外御滿足を表され且つ三夫人に對しては慰勞の御詞を給はりたる上御下賜品あり一同是れを拜受して退出せられたり

◉評議員會　十一月中の評議員會例會の日取りは左の如し

十一月廿二日(第四水曜日午後二時)

◉功績調査表に就て　本部に於ては昨年二月より去月に至る戰局に關し各支部及び幹事部幷に會員個人に於て盡力せし事項(出征軍隊へ恤兵員を送り種類軍人の家族を慰問せし度數軍隊を送迎せし會員の人員等)の調査方を各支部に通牒せり

◉資格變更に就て　通常會員の一時出金者にして特別會員に資格を變更せんとする場合は其の不足額金八圓を一時に醵出し又た年賦納附は每年金二圓宛五ヶ年間醵出の規定なれば資格變更者は右に基き支部又は幹事部へ申込みありたし

◉東鄕大將に手鈕を贈る　會長公爵夫人岩倉久子評議員濱尾祚子の二氏は本會を代表して去る十七日東鄕大將を其の邸に訪ひ紀念の爲め本會の徽章ある金製の手鈕を贈呈したり

◉凱旋軍隊の歡迎　本部幷に東京支部にては左の規約を設けて凱旋軍隊を歡迎しつゝあり

一歡迎當番の役員にして當日差支ある場合には代理者(可成婦人にして會員章を佩用せるものとす已を得ざるときは男子にても差支なし)を差出さゝ事
但し名刺は凡そ貳拾枚持參せらるゝこと及本會員は徽章佩用並に職員章御持參の事
二組合は可成一區內住居の方を一組となす事
但し其人員の多少に依りては一區を分割し又は數區を合併することあるべし
三歡迎當番の日割は前以て通知し置く事
四軍隊着日時は一々通知せず當番の組は新聞にて御承知の上出張せらるべき事
但し軍隊到着せざるときは其日の當番は取消休みとする事
五午前七時より午後七時迄の間に着せらるゝ凱旋軍隊のあるとき出張せらるゝ事
六各驛には事務員一名出張する事

◉恤兵寄贈品配與通牒　本會より寄贈したる恤兵品に就き配與團隊より左記の通り通報ありたる旨陸軍恤兵部々員首藤多喜馬氏より通牒ありたり

某隊通報
扇、品質上等形狀婦人持にして携帶に便綺麗優美遠征の情を慰むるに足るものあり梱包完全缺損なし

某隊通報
繪葉書、愛國婦人會寄贈の繪葉書は大に歡迎せられ紙質良好且つ美麗なりしを以て滿足を與へたり

某隊通報
繪葉書、殊に愛國婦人會より寄贈に係る繪葉書は其畫法頗る高尙なるを以て好評高し

某隊通報
繪葉書、愛國婦人會寄贈繪葉書は受領後直ちに各人に分配せり兵員喜色少尠陣中の便宜及慰藉の効最も多きを認む

某隊通報
繪葉書、愛國婦人會寄贈の分は何れも一枚每に寄贈者の住所姓名を記入しありしは特に一般に歡迎せる所なり

◉奧村刀自一行　奧村五百子刀自は滿洲軍慰問前より支部への約束を履行する爲め遊說員富樫眞喜子氏を隨へ大凡一ヶ月間の豫定を以て去る四日出發遊說の爲め石川縣へ赴かれたるが都合に依りては福井支部へも出張せらるゝ筈なり

◉寄附金披露　其後拾圓以上の寄附金者左の如し

一金貳百四拾四圓餘　英國海軍大將ノーエル氏
一金百　圓　米國人　ビー、ヘガード氏
一金五拾圓　在米國　中西谷次
一金五拾圓　東京　神保看護婦總代　茂在つい子
一金五拾圓　神戶　有馬よね子
一金五拾圓　同　市田きく子　市田ひさ子
一金五拾圓　秋田　庄司イエ子
一金參拾圓　在米國　穗崎米三郎
一金參拾圓　東京　浪花電話局婦人室一同
一金貳拾五圓　在米國　內木二男
一金貳拾圓　東京　原とみ子

右の內浪花電話局婦人室一同の分は日露戰役以來食事の際用ひ來りし茶を廢し其代金を貯蓄したるものを纏めて寄附せられたるものなり

外に淸國營口兵站司令官與倉中佐の盡力により支那人の寄附に係る醵金壹萬百五拾貳圓を寄贈せらる此の出金者姓名金額は次號に揭ぐ

◉支那人の寄附　本會の事業に對しては淸國人も大に同情を表し曩きには王化成氏一個人にて軍票壹萬圓を寄附せしが今又營口にある支那人は前項にもある如く同地の軍政署長官與倉步兵中佐の手を經て金壹萬百五拾二圓を本會に寄附し來りたるは實に感ずべき次第なり

◎各地支部狀況

◉東京支部　同支部內各區幹事部に於ては去月來順次慈善演藝會を開催しつゝあるが麻布區幹事部に於ても去る十七十八日兩日同區東鳥居坂町東洋英和女學校に於て開催し松永和楓の長唄、藤間勘右衞門の踊、相生太夫の義太夫其他濟美音樂學校主事赤星國淸氏の獨吟、尾崎男爵令孃、南鄕若夫人其他夫人令孃方の琴三味線等の寄附演奏ありて兩日とも入場者非常に多く盛會なりき、尙ほ芝區にては增上寺本坊大廣間を借受け來る二十七、八、九の三日間烏森、神明、芝浦の藝妓及び俳優片岡市藏市松等寄附出演の筈なり又た日本橋區幹事部にては去月三十一日より三日間日本橋倶樂部に於て凱旋水兵を無料宿泊せしめ酒肴の饗應の外に餘興として樂隊、藝妓の手踊、蓄音器等あり各夫人熱心に幹旋の勞を執られたる爲め水兵は何れも喜悅滿面に溢れ居れるを見受けたりき

◉京都支部　(一)十月十七日內務省地方局長吉原三郞氏同支部に立寄られ經木眞田練習所實况を視察し役員等が經木を以て製造しつゝある簪に非常なる贊辭を與へられ且つ參考として拾數本を携帶せられたり(二)同日より大森支部長同顧問の兩氏は丹波丹後地方巡視として出張せられ二十一日には天田郡幹事部臨時總集會に臨席せられたり(　)天田郡幹事部總集會は十月二十一日を以て開會せられ支部よりは幹事金子鉦枝子、同大澤幸枝子、事務員菅谷定與の三氏出張參列せしが來會者二百餘名頗る盛會なりし

◉石川支部　同支部に於ては麥稈眞田編業は軍人遺族癈兵等の授產事業として將來最も適切にして且つ有望の事業なるを認め先づ支部內一般へ之れか普及を促すの端緖を開かんが爲め敎師の養成か戰後一般婦人界の生產思想を惹起せしめんとするの目的を以て麥稈眞田傳習所を設置し去る九日より之れが授業を開始せり其の狀況左の如し

一、傳習所位置　金澤市公園石川縣勸業博物館
二、傳習期間及就業期間　(一)傳習期間三十日間　(二)就業時間午前九時より午後四時まで
三、敎師の員數　敎師一名(男子)助手二名(女子)
四、傳習生の種別及員數
(一)　本科生　三拾四名
(二)　隨意科　參拾七名
本科生とは他日同支部下に於て軍人遺族並に癈兵の爲めに設置する所の麥稈眞田編業の敎師たるの希望を有する者にして年齡十五歲以上三十歲以下の一般婦人より募集せしものなり
隨意科生とは本會々員及戰後に於ける一般婦人界の生產思想を惹起せしめんが爲めに模範的の傳習を受けんとする會員中の篤志婦人より募集せしものなり
五、傳習生の身分及業務の成績
(一)本科生は相當資力を有する良家の子女最も多く中には女敎員免許狀を有するものあり何れも相當の敎育あり業務の成績も亦佳良にして一ヶ月間の修業を了らば優に斯業の敎師たるを得べし
(二)隨意科生は文武高等官の夫人令孃に多くして孰れも各種婦人團體の幹事職員なるに拘らず日夕職務鞅掌の餘暇を竊ふて出勤傳習を爲しつゝあり其成績良好にして其勞苦と勤勉とは一般婦人社會の仰慕措かざる所なり

◉熊本支部　熊本支部に於ては去月廿六日赤十字社熊本支部に於て例會を開きしが當日の出席者は南木大憲、矢毛智逸、藤原圓乘の三講師河內山主事田村事務員會員には江木支部長、飯田、岡村兩支部副長其他幹事以下六十餘名にして河內山主事開會を告げ藤原、南木兩氏の講話あり夫れより河內山主事、總裁殿下の御諭旨幷に會長の告示を朗讀し續て熊本支部が戰後に於ける救護の方針方法等に付き談話あり午後三時閉會し夫れより會員一同戰死者の葬儀に列し終て又歸還傷病軍人を熊本停車場へ出迎へたり

◉福岡支部　同支部糟尾郡篠栗村の會員は今回義捐金を募り紫地に白く「戰ひてかたぬことなき武士のこゝろのたちは今そかゞやく」と云へる凱旋を祝せる國歌を染拔きたる美麗の袱紗を製し大山東鄕兩大將を始め村內出征軍人八拾有餘名へ紀念の爲め寄贈したり

◉島根支部　島根支部に於ては今回事業擴張の方法を左の如く定めて既に着手したるが尙ほ明年五月を以て總會をも開會するに決定せりと

一支部內居住の癈兵及戰死準戰死者の遺族にして救助を要する者を將來支部に於て救助する爲相當の事業を設くる事
二前項の事業施設上支部の規模を擴張し新に正會員六千六百五十二人を明治三十九年三月三十一日を期し募集し以て現在正會員三千三百四十八人を合せ壹萬人とする事
三會員募集の方法は左の如く定むる事
一女子人口を標準とし壹万人を各幹事部に配當する事
二會員の募集は幹事部長は其顧問に委託する事
三幹事部顧問は時に有志者を便宜招集し勸誘演說をなし以て會員募集に盡力する事
四幹事部顧問は部內の幹事若くは町村委員をして所在地有志者を勸誘する事
五幹事部事務員は可成島廳郡市役所庶務係擔任の書記若くは視學に囑託する事
六各警察署長及び分署長に募集方助力を依賴する事
七支部顧問及參與は出張の序を以て便宜勸誘する事

正會員一万人募集配當表

市郡島	三十六年末調女子人口	配當人員(女子百人に付二人七五五)	現在正會員
松江	一七、二九三人	四七六人	一八五人
八束	三八、七二六	一、〇六七	一七二
能義	二〇、四八七	五六四	二三六
仁多	一一、〇二九	三〇四	九四
大原	一四、七六八	四〇七	六七
簸川	六四、一五四	一、七六八	八九四
飯石	一六、七四五	四六一	一七三
安濃	一三、五二三	三七三	六七
邇摩	二〇、九四一	五七七	一七二
邑智	三二、六五六	九〇一	四〇七
那賀	五三、七二八	一、四八一	一七九
美濃	二五、三六一	六九九	三八七
鹿足	一四、七三八	四〇六	二二四
隱岐	一八、七四五	五一六	九五
計	三六二、八九四	一〇、〇〇〇	三、三四八

◉群馬支部　同支部去月末調査にかゝる會員數は左の如くにして配當人員とあるは各郡市の女子人口に比して一万人を割付けたる數なるが配當人員に達せざる郡市は來る二十六日開催の總會までに增員せしむべき見込みにて目下夫れ〳〵募集に盡力しつゝありと

郡市	配當人員	特別	通常	贊助
勢多	一、〇六八	一九七	一、〇六七	九
群馬	一、三七四	一三九	二、四九二	三六
多野	七五九	一九	三四七	
北甘樂	八七八	六九	七一七	五
碓氷	七〇五	五八	六五九	一六
吾妻	五一〇	八六	二九三	
利根	六一一	五四	六七五	
山田	九〇六	七五	一九五	
新田	六五一	五四	四七九	
邑樂	八七八	二〇五	一、一七二	
佐波	八四九	五九	五七六	二五
前橋	四五五	一一五	六七二	八
高崎	三五八	三〇	二二四	
計	一〇、〇〇〇	一、一六〇	九、五六八	九九

◉三重支部　同支部にては去月十三日東鄕大將聯合艦隊を率いて凱旋の歸途津の沖合に集合せしを以て支部及び附近津市安濃郡幹事部職員一同大將を旗艦に訪問し又長官各司令官並に將校を引率せられ神宮參拜に際し是れを阿漕驛に歡迎し尙ほ支部內會員をして各艦につき慰問かた〳〵艦內の生活動作を巡視せしめたるが其當時東鄕大將は職員一同に對して左の謝辭を述べられたり

客春來軍國に際し御婦人の身を以て熱誠に國家に盡瘁せられ大に出征軍人の後援となりたる功果は寔に多大なりとす一同滿足い至りなり願くは將來に於ても尙ほ十分の盡力あらんことを希望すると共に職員並に會員御一同へ此意を致されんことを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◎恩給金其他請求手續

恩給、賑恤金及給助金其他扶助料、特別賜金請求に關する手續左の如し

▲恩給、賑恤金及給助金請求手續

軍人恩給は左の三種あり

退職恩給　免除恩給　增加恩給

退職恩給は准士官以上に在て左の場合に之を給す

一　現役十一年以上にして定期年齡に達し又は定期の年齡に達せざるも傷痍を受け若くは疾病に罹り服役に堪へず退職したるとき又は現役十一年以上にして未だ定期の年齡に達せざるも休職滿期若くは諭旨に依て退職したるとき

二　戰鬪及戰時平時に拘はらず公務の爲め傷痍を受け一肢以上の用を失ひ若くは之に準すべき者又は戰地に於て流行病に罹り又は戰時平時に拘はらず公務の爲め健康に有害なる感動を受くるを顧みること能はずして勤務に從事し爲めに一肢以上の用を失ひ若くは之に準すべき者にして退職したるとき

免除恩給は下士兵卒に在て左の場合に之を給す

一　現役十一年以上にして定期の年齡に達し又は定期年齡に達せざるも服役滿期となり或は傷痍を受け若くは疾病に罹り服役に堪へず免官若くは現役を免除したるとき

二　前條退職恩給の第二に由り免官若くは現役を免除したるとき

增加恩給は將校下士卒共戰鬪及戰時に拘はらず公務の爲め傷痍を受け若くは疾病に罹り左に掲ぐる事項の一に當る者に退職恩給又は免除恩給と併せて特に給せらるものとす

一　兩眼を盲し若くは二肢以上を亡したるとき

二　前項に準すべき傷痍を受け若くは疾病に罹りたるとき

三　一肢を亡し若くは二肢の用を失ひたるとき

四　前項に準すべき傷痍を受け若くは疾病に罹りたるとき

五　一眼を盲し若くは一肢の用を失ひたるとき

六　前項に準すへき傷痍を受け若くは疾病に罹りたるとき

戰鬪及戰時平時に拘はらず公務の爲め傷痍を受け若くは疾病に罹り恩給を受け又は之を受けずして現役を離れたる後重症に趣きたる者左の期限内に檢査を願出するときは軍醫官之を檢査し其の症狀を考へ之を策定し之に相當する恩給を給せらる

一　一眼を盲し若くは一肢の用を失ふに至りたる者若くは之に準すべき者は現役を離れたる日より二個年

二　一肢を亡し若くは二肢の用を失ひ若くは兩眼を盲し若くは二肢以上を亡するに至りたる者若くは之に準ずべき者は現役を離れたる日より三個年

賑恤金は下士兵卒に在て左に掲ぐる事項の一に當り第九條第六項より輕症にして恩給を受けざる者に之を給す

一　戰鬪及戰地に於ける公務の爲め傷痍を受け若くは戰地に於て流行病に罹り又は戰時平時に拘はらず公務の爲め健康に有害なる感動を受くるを顧みること能はずして勤務に從事したるに原因する疾病に罹り現役を免れたるとき

二　戰時平時に拘はらず公務の爲め傷痍を受け若くは戰地に於て流行病に罹り若くは公務の爲め健康に有害なる感動を受けるを顧みること能はずして勤務に從事したるに原由する疾病に罹り現役を離れたるとき

給助金は將校下士に在て左の場合に之を給す

一　現役中死歿したるとき

二　現役四年以上十一年未滿にして退職恩給免除恩給を受けずして現役を離れたるとき

退職、免除恩給及給助金を受くべき者は第一又は第四第五書式請求書に第六書式の履歷書を添へ舊所管長官に宛差出すべし

增加恩給、賑恤金及公務の爲め受けたる傷痍疾病に起因して退職し又は免官し若くは現役を免除せられたる者に在て退職恩給又は免除恩給を請求する者は第一、第二、第三の書式に依り請求書を認め履歷書の外更に左の書類を添へ所管長官に差出すべし

一　傷痍疾病の原因は現認證書又は之を證する公文の寫若くは口供書

二　傷痍疾病輕重の度は陸海軍醫官の證明若くは陸海軍醫官の査覈を經たる醫師の證書

現認證書口供書等は其隊に於て現場目擊せし者其事實を詳記し下付せらるゝものなり又醫師の證書とは軍醫官の診斷書を受けること能はざる場合に於て地方醫師の診斷を受け醫師二名立會の上傷痍疾病の原因經過療法及現症を詳記したる診斷書なり

恩給、賑恤金、給助金の請求書及履歷書は各二通を差出すこと

第一書式　（用紙美濃紙）

恩給請求書

何年何月何日何兵にて入營何年何月何日被任何官爾來何箇年服役何年何月何日豫備（後備）（服役）（傷痍疾病）の故を以て退役（免官）（免役）に相成候就ては軍人恩給法第何條に據り恩給下賜度證據書類相添請求仕候也

元第何師團何兵第何聯隊第何中隊
何府（縣）何市（郡）町（村）何番地
華（士）族（平民）
何府（縣）何郡（市）町（村）番地寄留
官　氏　名　印
年　月　日
所管長官爵氏名殿

（附屬すへき證據書類）
履歷書
（傷痍疾病に係はるもの、附屬すへき證據書類）
履歷書
診斷證書若くは地方醫の診斷證書
現認證書若くは公文の寫若くは口供書

第二書式　（用紙美濃紙）（傷痍疾病重症に赴き恩給の增加を請求するか若くは新に其恩給を請求するとき）

恩給請求書

何年何月何日より傷痍（疾病）の故を以て恩給及負傷增加恩給下賜候處（現役を離れ候處）爾來何々に依り遂に重症に赴き別紙診斷書の通に候間御檢査の上軍人恩給法第何條に依り恩給下賜度證據書類相添請求候也

肩書は第一書式に同し
官　氏　名　印
年　月　日
所管長官爵氏名殿

（附屬すべき證據書類）
診斷證書（地方醫師の調したる診斷證書にありては醫師二名連署したるもの）
（新に恩給を請求するもの、附屬すべき證據書類）
履歷書
診斷證書（地方醫師の調したるものは醫師二名連署したるもの）
現認證書若くは公文の寫若くは口供書

第三書式　（用紙美濃紙）

賑恤金請求書

何年何月何日何地に於て何々の爲め傷痍を受け（疾病に罹り）爾來加療の處服役に堪へさるを以て何月何日免官（免役）相成候就ては軍人恩給法第何條に據り相當の賑恤金下賜度證據書類相添請求仕候也

肩書第一書式に同じ
元官　氏　名　印
年　月　日
所管長官爵氏名殿

（附屬すべき證據書類）
診斷證書（軍醫官の診斷證書若くは地方醫師の診斷證書但二名連署のもの）
現認證書若くは公文の寫若くは口供書

第四書式　（用紙美濃紙）

給助金請求書

何年何月何日被任何官爾來何箇年勤續本年何月何日現役を離れ候に付軍人恩給法第何條に據り給助金下賜度證據書類相添請求仕候也

肩書は第一書式に同じ
官　氏　名　印
年　月　日
所管長官爵氏名殿

（附屬すべき證據書類）
履歷書

第五書式　（用紙美濃紙）
（遺族より出願のとき）

給助金請求書

第何師團何兵第何聯隊何中隊
故官　氏　名

右何年何月何日死去仕候に付軍人恩給法第何條に據り給助金下賜度證據書類相添請求仕候也

故官氏名寡婦（後見）（遺族）
何府（縣）何郡（市）町（村）番地
華（士）族（平民）
何府（縣）何郡（市）町（村）番地寄留
氏　名　印
年　月　日
所管長官爵氏名殿

（附屬すべき證據書類）
履歷書

第六書式　（用紙制限なし）

履歷書（遺族へ下付せらるべき履歷書も此例に準ぜらるゝ筈なり）

何府縣市區（郡）町（村）番地華士（族）平民
同　何番地寄留
官　氏　名　印
何年何月何日生

明治何年何月何日　徵兵にて何師團に入營（任何官）
明治何年何月何日　何々の科に依り何々何日
同上　任同兵二等軍曹
同上　某地從軍
同上　某地より歸營
同上　任何官
同上　豫備被仰付（免官免役死亡）

右相違無之仍て證明候也

年　月　日　職官氏名　職印

▲扶助料請求手續

扶助料は左の場合に於て其寡婦之を受くる權利を有す

一　戰鬪の爲めに死歿し及戰時平時に拘はらず公務の爲め傷痍を受け一肢以上の用を失ひ若くは之に準すべき者にして死歿したるとき及戰地に於て流行病に罹り又は戰時平時に拘はらず公務の爲め健康に有害なる感動を受くるを顧みること能はずして勤務に從事し爲めに死歿したるとき

二　現役十一年以上にして定限の年齡に達し又は年齡に達せざるも傷痍を受け若くは疾病に罹り服從に堪へず退職し及現役十一年以上にして未だ定限の年齡に達せざるも休職、停職滿期若くは諭旨に依り退職し又は下士兵卒にして現役十一年以上にして定限の年齡に達し又は定限年齡に達せざるも服役滿期となり或は傷痍を受け若くは疾病に罹り服役に堪へず免官若くは現役を免除され既に恩給を受け又は恩給を受くべき權利を有し死歿したるとき

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

扶助料は寡婦に給するを本則とす寡婦あらざれば其子に給す若し子なければ父に給し父なければ母に母なければ祖父に祖父なければ祖母に給せらるゝものとす其既に給與を受けたる者死亡したるときも亦此順序に依り轉給を受くるものなり但長子其給與を停止せられたるときは次子に轉給す次子なくして父母又は祖父母あれば前の例に依り轉給を受くるものなり

扶助料を受くべき權利者は死歿せし軍人の現役中より引續き同一の戸籍内に在る者尚寡婦は陸海軍兵籍簿に登記したる者に限る其給與の順序は寡婦、家名を繼襲すべき孤兒、非戸主軍人の孤兒は年長者、父、母、祖父、祖母とす但家名繼襲者に非ざる孤兒は男子を先にし女子を後にす又養子は家名繼襲者に限る

死歿軍人の戸籍内に前項の者なくして二十年未滿又は癈疾若くは不具にして產業を營むこと能はざる兄弟姉妹ありて之を給養する者なきときは一時限り扶助料を給與せらるゝことあり

扶助料を請求するときは其請求書に請求者（即ち前に記載したる寡婦孤兒等）署名し（未成年者なれば後見人連署すべし）親族二名（親族なきときは居住地の戸主二名）之に連署し市町村長の奧印を受け左の書類を添へ地方長官（即ち北海道長官府縣知事）に差出すべし

一　現役中死歿したるものは所管長官より下渡したる死者の履歷書（此履歷書には所管長官の證明したる兵籍簿添付しあるものとす）

二　公務の爲め死歿したるものは履歷書の外所管長官より下渡したる公務の爲め死歿したる事實を證明すべき書類

三　恩給を受けたる軍人の遺族なれば其恩給證書

四　死歿當時の戸籍謄本

五　癈疾不具者より請求する場合は醫師の診斷書

此五の癈疾不具者とあるは前に掲げある死歿軍人の戸籍内に癈疾若くは不具にして產業を營むこと能はざる兄弟姉妹云々是れなり

扶助料は軍人死歿の時より三年以内に請求せざれば受領の權利亡失す又扶助料を受けたる者左の場合には其權利消滅す

一　權利者死亡したるとき

二　寡婦婚嫁、離緣復籍、分家其他の事情に依り其戸籍を去りたるとき

三　孤兒滿二十歳に達し又は結婚したるとき

四　孤兒、父母、祖父母分家其他の事情に依り其戸籍を去りたるとき

▲特別賜金請求手續

陸海軍々人軍屬雇員傭人にして今回の戰役に從事し死歿（戰死、負傷後死亡、公務上病死等）したる者の遺族に一時限り特別賜金を給せらるゝ定めなり之を受領し得る者は其死歿當時之と同一戸籍内に在る者に限る其順序は寡婦、子、父母、祖父母、兄弟、姉妹なり故に第一番は寡婦に下付せらる寡婦なければ、子、子なければ父、父なければ母以下此順序に從ひ下付せらるゝものなれば祖父母を差置き兄弟より願出るも下付せられず、兄弟を差置き姉妹より願出るも下付なきものとす尚孤兒は數子あるも年長の男子より願出るを本則とす男子なければ女子の年長者たることは無論なり

特別賜金願書は左の書式に依り認め之に戸籍謄本を添へ（負傷若くは疾病に依り歸鄉後死歿したる者に在ては死亡證書を添付するを要す）陸軍大臣へ差出すべし

（書式）（用紙に制限なきも美濃紙を用るを可とす）

特別賜金願書

所屬「第何師團何兵何聯隊第何中隊」

故「陸軍何兵何等卒」　氏　名

右者明治三十何年何月何日何地に於て戰死「（傷痍を受け何病に罹り何月何日何地何病院に於て死亡）」致候間特別賜金賜與相成度戸籍謄本相添此段願上候也

原籍地何府縣何郡市何町村何番地

「寄留地何府縣何郡市何町村何番地」

故　某　寡婦「長男父母」

明治三十何年何月何日　氏　名　印

陸軍大臣寺內正毅殿

右書式の中「　」あるは一例を示したるものなれば實際認むるときは其所屬部隊官等職名等死者が死歿當時有せしものを記載すべし其歸鄉後死亡又は戰地病院に於て死亡せしものも亦其年月日場所を詳記するを要す又何々とあるものも都て實際に就き認むべし

右の願書を差出し置けば追て陸軍大臣より特別賜金證書を下付さるゝなり此證書には特別賜金請求書を添へあるを以て其請求書に特別賜金額、自己の姓名其他必要なる記入をなし且此書面に市區町村長より正當受領者たる證明を受け直接陸軍會計監督部に差出すべし同部より其金員を本人に交付せらるゝなり

海軍々人軍屬等の特別賜金請求は大體陸軍の例に倣ひ願書を認め軍艦乘組の者なれば其軍艦に陸上に在りし者は其地方官に差出すべき筈なり

◎鹿兒嶋支部總會

鹿兒島支部總會は去る四日鹿兒島市興業館内に於て開會せられたり式場は園の中央に設けられ太田大佐夫人支部長に代つて開會の辭を陳べ次に總裁宮妃殿下御名代島津明子氏御諭旨を朗讀し次に支部長千頭德子氏は左の答辭を朗讀したり

愛國婦人會鹿兒島支部第四回總會を開くに方り特に總裁宮殿下御名代の光臨を辱し優握なる御諭旨を拜す洵に有難きとの極みにて支部の光榮何ものか之れに加へん今や平和克復し本會の前途愈重任を加ふ德子等同心協力倍本會の擴張に努め以て台旨に副ひ奉らんことを期す謹みて答辭を上る

明治三十八年十一月四日

愛國婦人會鹿兒島支部長　千頭德子

次て御名代より戰死者遺族廢兵參列者六百七十三名へ各金二圓宛の御下賜あり更らに該遺族廢兵へ鄭重なる慰藉の詞を陳べられ其れより市來主事の會務の報告會員總代島津冴子氏の祝辭朗讀あり澤田事務官の會現在の狀況並に氏が視察上よりの感想を陳べて縣下婦人會員の益々增加して益々盛大に國家の爲めに盡されんことを望む云々の祝辭あり其れにて式は終りを告げ來賓會員遺族一同は豫て設けの城山公園に打連れ會員は浩然亭柳月亭へ來賓遺族は鶴鳴館第二支店の大廣間へ案內され菓子酒肴の饗應其他餘興の催しあり各十分の歡を盡して黃昏散會したるが當日の來會者は一千八百餘名にして極めて盛會なりき尙ほ島津總代の祝辭は左の如し

爰に愛國婦人會鹿兒島支部第四回總會を開かれ

總裁の宮殿下御名代の御光臨を初め奉り數多の貴賓並に戰死者の御遺族及廢兵諸氏の御來會を辱ふしたるは洵に有り難く喜ばしきことの限りなり今や戰局茲に戢まり我國威四表に揚る一に之れ忠勇義烈なる軍人方の功勳にこそ由るなれ

抑も本會は屍を戰場に曝らせし方の御遺族、砲煙彈雨の間に負傷せられし廢兵諸氏の救護を目的とし其功績に報ひんとするもの爾今堅忍持久愈々益々事業の盛大に赴かんことを祈る茲に會員一同に代り謹みて本日の盛會を祝すと云爾

明治三十八年十一月四日

愛國婦人會鹿兒島支部

會員總代　島津冴子

◎石川支部遊說日誌

奧村五百子刀自一行

◉十一月五日　零時四十分無異金澤に着す村上知事を初め石川縣事務官役員等數十名プラットホームに出迎はれ村上支部長高安副長佐藤主事は大聖寺迄出迎はる途中福井驛より金澤驛に至る迄に於ける各驛には役員會員多數出迎はれたり一行は野田寺町古今亭に投ず村上知事仝支部長長男爵北堂高安副長佐藤主事來宿總ての打合せをなせり

◉十一月六日　午前は來訪者多くありたり午後二時より支部長長北堂高安副長佐藤主事同行公園内成巽閣に於ける麥稈眞田傳習所に至り生徒の習業の有様と成績品參考品等詳細に觀察し夫より金谷館に開催せる役員會に臨みたり來會者横山本多今枝の各男爵夫人を初め評議員幹事約九十餘名村上顧問色川事務官渡瀨市長等も列席の上村上知事開會の辭に併せて奧村女史に慰問の勞を謝せらる續て自分滿洲軍隊慰問の狀況の概要を談し後奧村女史戰後に於ける婦人の覺悟に付講話せられ終りて晩餐となり一同歡を盡し八時歸宿せり

◉十一月七日　午前九時一分金澤發の列車にて村上支部長長北堂佐藤主事武部事務員同行能登國穴水に向ひたり二十餘名の役員に停車場迄見送られ各驛には幹事部長を初め役員數名迎送せられたり午後一時矢田新に着此處にて下車し夫れより波止場に至り小蒸汽に乘し穴水に着したるは四時頃なりき幹事部長幹事十數名出迎はれ一行は新谷旅館に投ず

◉十一月八日　午前八時穴水新谷旅館出發腕車を驅りて輪島に向ふ此日道程六里栗山幹事部長高橋幹事砂山事務員同行せらる一行は十二時着遊江寺に入りたり栗山郡長を初め越山町長事務員有志役員來訪午後二時半より仝寺に於て講話聽衆一千二百餘名滿堂立錐の餘地なし栗山顧問開會の趣旨を述べ次に長副長の挨拶あり續て自分一時半餘談話し後奧村女史の講話あり閉會を告げたるは五時なりき當町には勝田量平氏とて非常なる熱心家ありて最初に仝氏贊助員に申込まれ續々勸誘するとのことなれば不日多數の贊助員を得るならん

◉十一月九日　午前八時輪島出發穴水に歸る同行者前日の外に郡長警部を加ふ途中仝町有志の設立に係る經木眞田、眞綿製作場に立寄り詳細に觀覽し九時仝所を辭し直行穴水新谷旅舍に着したるは零時三十分なりき午後二時半より法性寺に於て講話聽衆約一千余名即時入會者二十八名五時閉會せり講話の順序は例の如し當地には樋爪啓太郎氏（次男は閉塞隊に加はり旅順港に於て戰死したるもの）あり非常に熱心にして先づ贊助員に申込み親類五名を勸誘し尙續々募集するとのことなり

◉十一月十日　午前十時より穴水町有志者の建立に係る（樋爪氏發起）日露戰役忠死軍人の靈を祭る忠魂堂に參詣しそれより來光寺長谷部神社（何れも長家の菩提寺と先祖を祭りたる神社）に參拜を遂げ再ひ來光寺に至り幹事の催せる茶話會に臨み晝餐を喫し午後一時歸宿四時出帆の第三能登丸にて宇出津へ着したるは午後七時半なりき仝町長有志役員を初め珠洲郡より出張したる郡書記等多數の出迎を受け一行は無與川端旅館に投したり來訪者續々ありたり

（富樫眞喜記）

各支部へ

支部狀況は成べく發行所宛にて迅速御通報を乞ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷

◉御凱旋御奉告　大元帥陛下には日露戰役御凱旋御奉告の爲め去る十四日御發輦、當日は靜岡御用邸に御一泊、翌十五日伊勢山田行在所神宮司廳に御着輦御泊、翌十六日より左の如く御參拜あり

十六日午前十時　豐受神宮御親拜
十七日午前十時　皇太神宮御親拜

十八日一日御休憩還幸の御途次は矢張り靜岡に御一泊あらせられたるが行幸中東京宮城に於ては岩倉掌典長御代拜を仕し宮中賢所　皇靈殿神殿に於て御凱旋の御奉告祭を行はせられ又還幸後更に岩倉掌典長を勅使として特に大和神武陵、京都先帝陵等に差遣はされ右の如く御凱旋御奉告祭の御執行ある筈なり右を終り全國の各官國幣社一般同時に御奉告祭を行ひ各地方長官勅使を奉仕し幣帛を捧ぐる由右にて御凱旋の御奉告祭を結了さるゝ筈なりと

◉皇后陛下恩賜品　今般皇后陛下の御製遊ばされたる卷軸繃帶二百五十卷入二拾箱負傷者へ下賜の御沙汰ありたるに付き陸軍大臣は優渥なる思召の程を傳へて之れを各豫備病院へ配布せしめたり又特別の思召を以て本年三月四月免除となりたる廢兵へ白フランネル襯衣三千三百餘枚及び御菓子料金六千八百餘圓下賜相成りたるに付陸軍大臣は此程渥き思召の程を傳へて夫々頒賜方を取計ひたりと

◉東宮御陞進　去る三日の天長節の佳辰に際し皇太子殿下には左の如く御陞任あらせられたり

任海軍少將
任陸軍少將
嘉仁親王

◉宮中御内宴　皇后陛下には天長節を祝させらるゝ爲め去る三日午後二時より有栖川宮妃慰子、閑院宮妃智惠子、東伏見宮妃周子、伏見若宮妃經子、山階宮妃常子、久邇宮妃俔子、梨本宮妃伊都子各殿下を宮中に召され人形の間に於て御内宴を開かせられたり

雜報

◉議會の召集　去る十二日を以て左の通り議會の召集を發表されたり

詔勅

朕帝國憲法第七條及第四十一條に依り本年十二月二十五日を以て帝國議會を東京に召集す

御名　御璽

明治三十八年十一月十二日

各大臣副署

◉皇孫御養育掛任命　東京府第一高等女學校教諭淸水繁子氏は去る五日皇孫殿下御養育係を仰附けられたるが同氏は第一高等女學校の出身にして才學共に優れ夙に淑德の聞へ高く今回皇孫殿下御養育掛の適任者として光榮あるこの御撰拔を蒙むりしものなりと

◉大日本婦人衞生會　同會にては前米國公使夫人ミセスバック氏歡迎會を兼ね去る四日大隈伯邸内に總裁依仁親王妃殿下の御來臨を仰ぎ例會並に懇親會を開きしが先づ會長鍋島侯爵夫人の歡迎の挨拶あり次に大隈伯はバック夫人を歡迎したる事戰後に於ける婦人衞生會が一大發展をなさゞるべからざる事等を演說し是れに對するバック夫人の挨拶ありて茶菓の餐應に移りしが來賓には各國公使夫人及公使館員夫人等數十人あり頗る盛會なりき

◉救護班員の解除　日本赤十字社は内外地及び病院船に派遣したる救護班員四千九百餘人中戰地及び病院船に勤務中なる三十九班員を除きて其の内地勤務中なる三十九個の救護班に對して東京本部よりそれぞれ解除の命令を發したるが一所員二十六名宛都合一千零十四名にて中看護婦數八百五十八名は此十一月中旬頃までに何れも其の所屬部に凱旋歸鄕する筈なり尙救護班員中職務の爲に斃れたるもの七十八(醫三、調劑三、書記三、看護婦二五、看護人三五、輸送人一〇)ありしが十月卅一日まで看護婦長及看護婦の氏名及病名等の判然せし者は左の如し

▲鐘ケイ子(千葉縣、博愛丸、急性腹膜炎)
▲尊野ハツヨ子(福岡縣、八四班、肺炎)
▲大貫ツメ子(栃木縣、二八班、腸窒扶斯)
▲末田セツ子(廣島縣、七一班、結核性腹膜炎)
▲曾我リン子(大分縣、八六班、肺結核)
▲永島ヤヘ子(熊本縣、九一班、肺炎)
▲一柳ツカ子(北海道、一〇一班、腸窒扶斯)
▲三宅ケイ子(岡山縣、六九班、腸窒扶斯)
▲堀セイ子(北海道、一〇〇班、腸窒扶斯)
▲堀江タカ子(神奈川縣、博愛丸、腸窒扶斯)
▲土屋ツギ子(靜岡縣、三六班、腸窒扶斯)
▲知野ヤス子(和歌山縣、七五班、膽石疝病)
▲加藤ケウ子(山梨縣、三八班、腸窒扶斯)
▲大東ハツ子(福島縣、二六班、肺結核)
▲坂本トミ子(愛媛縣、八〇班、肺癆)

の十五名にて何れも戰局に殉したるものといふべく中にも看護婦長大貫を始め末田、一柳、三宅、堀、堀江、土屋、加藤等は一等症患者に屬する名譽の死者なりと次に戰地なる男子班と病院船勤務中なるは凱旋も餘程遲かるべく其解除期は容易に判然せずとなり

◉大日本女學會の名譽　大日本女學會は今回創立十週年の趣被聞召　皇后陛下より左の御歌を下賜せられたり名譽のことゝ云ふべし

花になれ實をもむすへといつくしみおほしたつらんやまとなてしこ

◉文學音樂共究會　文學と音樂との共究を目的として世に善美の氣風を鼓吹せんとする同會は去る四日午後五時より神田美土代町靑年會館に於て凱旋祝賀の意をかねて音樂演奏會を行ひたるが當日の純利益は悉く斯道の獎學金に寄附する筈なりと

◉看護婦慰勞會　慈惠病院に於ては去る十一日午后一時より今回の戰役に際して赤十字社臨時救護班として從事せし看護婦二十三班、二十四班の慰勞會を開催したる此兩班は共に同院より出て二十三班は第九師團豫備病院に二十四班は呉の海軍豫備病院に勤務せしものにして前者は始三十七年十一月二十三日に召集され同じく二十八日に着任し後者は同年十一月十六日の召集にて二十二日に着任し共に前後して去月末歸京したるものなり

◉女子武道獎勵會　柏川廉子主となりて去る十二日本所元町東京體育俱樂部に於て女式武術會を開催したるが試合の種目は居合、柔道、薙刀、槍術、半棒等にして餘興には劍舞數番ありたり

◉徒弟的裁縫學校　齋藤春代子と云へるは齋藤中將の從姉妹にして現に橫濱女子實習學校を經營しつゝある方なるが此度小石川區新諏訪町四番地檜山鐵三郎氏方に徒弟的裁縫學校を設け火曜金曜の午前八時より午後五時まで日曜は午後一時より五時まで一週三日間宛の敎授をなす由

◉華族女學校紀念式　去る十三日は華族女學校の開校紀念日に付午前十時より細川校長、下田學監以下の職員、生徒一同々校に參集し　皇后陛下御製の唱歌を唱へ十一時散會、當日は休校せり

◉大日本婦人教育會　去る十八日午後一時より赤坂區福吉町黑田侯爵邸内に於て同會を開く、會長毛利公母堂を初め貴婦人の出席多く、餘興には勸進帳、はなれ小島のピヤノ其他數種ありたり

◉女學校運動會　第三高等女學校にては去る十一日午前八時半より同校運動場に於て秋季大會を開催したり

◉料理の夜學開始　治庖會の希望により日本橋平松町赤堀料理敎場にては來月より日曜水曜の兩日を以て午後五時より普通の家庭に適切なる料理法を敎授すべく規定は卒業期六ケ月束修一圓月謝一圓其他に實費として毎回十五錢內外を要すべしと云へり

◉癩病施療院擴張　英國人リデル孃は熊本に癩病施療院を設立し多年經營の結果追ひ〳〵收容者の增加に伴ひ施設擴張の必要生じたるを以て去る六日大隈伯澁澤男等專ら贊成の勞を執られ日本橋銀行俱樂部に有志者と會合したり

◉英國婦人柔道家　目下築地メトロポールホテルに滯在中なる英國婦人スメーン孃は非常の柔道熱心家なるが此度戰捷國武術の試合模樣を本國に紹介したければとて其の模樣の撮影方を麴町署に申込み向田署長立合ひの上去八日武術鍛練の巡査が道場にて立合ひ居る處を數種撮影せしが去る十二日は本所元町井生村樓に於て東京體育會俱樂部に於ける女式武道獎勵會の武術試合をも撮影したりと

◉女美學校と淸女學生　日本女子美術學校長島田氏は淸國語に通じ居れるを以て爾今大に淸國女留學生を敎育せんと目下頻りに募集準備中なりと

◉電話交換手の呼數　重に女子の職業となれる電話交換手に神經衰弱症を出すの傾きあると世上に傳へらるゝ折柄交換手一人が一日中に凡そ幾度取次をなすにや昨年の統計より抄出し見るに

●●●交換手數　(本局)百四十一(浪花)百四十八(新橋)百七十一(番町)六十八(下谷)九十三

●●●一日呼數　(本局)三萬四千三百廿八(浪花)四萬七千十九(新橋)四萬七千九十三(番町)一萬四千六百四十五(下谷)二萬四千八百廿七

にして之を一人に平均すれば本局二百四十三回、浪華三百十八回、新橋二百七十五回、番町二百十五回、下谷二百六十七回なりと

市內市外紅葉案內

菊もさかりに紅葉も色漸く深からんとす王子の瀧の川は汽車の便多く角筈十二社權現の境內は街鐵新宿線の終點及び新宿停車場より十町と距らず其他高田の穴八幡、大久保の北向天幡宮目黑の祐天寺などそれ〳〵に往復の便はあり市内にては東叡山の淸水堂、根津權現の境內、品川の東海寺、大塚の護國寺、增上寺の辨天池など見るに足るべし中にも最明寺入道の植置かれしと傳へらるゝ鮫洲の海晏寺、又は染井の百種の楓、若くは昔より紅葉の隨一と稱へらるゝ目黑の龍泉寺などは殊更の眺めなるべし

◉御凱旋を奉迎す　大元帥陛下伊勢大廟に凱旋御奉告を了
凱旋あらせられたるにつき本會役員幷に會員一同は麴町區內幸
て鳳輦を迎へ奉つれり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

陛下伊勢太廟に凱旋御奉告を了へさせ給ひ去る十九日御還幸御從貝井に會員一同は麹町區内幸町なる高木評議員邸前に整列し

短文披露　題「雲」

▲紫羽錦袖　福島　横川千賀子

何處より何地行くらん夕風に吹き拂はれて、千斷々々にさまよふ雲の其行手にはとゞむべきしがらみもなく、流れ〳〵て無限のみそらに集まり離れ、あした高嶺の上に現はれては花の霞とも思はれ、夕べ水面に影うつしては浮ぶ白帆にもまがへらる、雲は昨日の雲ながら、今日は紫の羽のして中空高く翔けり行き、明日は錦の袖ひるがへしつゝ、遙けき雲井に舞ひ遊ぶ、實に妙なる姿のひそむらん、みそらの果てこそしらまほしけれ。

▲選者曰　美くしく書かれたり、小品文の上乘なるもの

▲千樣萬態　東京　浦　月子

春霞漸くはれて若葉の梢風渡る頃、塵もとゞめぬ大空に、南の山の端舞姫の袖打ちかへしたらむやうなる白雲のさしいてたる、實に天のかぐ山に衣干したりと見そなはしけむ八雲立ち重なりたるあたりいその上、古き昔も忍ばれてなん、時鳥のかくれたるも心にくゝ、月に陰なすも暫しならばあはれなり、長閑の空ひたと閉ぢたるは物うく、夕ばえのあかく染めいてたるはいひしらずうつくし、風に消え風に起り、定めなき世の姿をや見すらん、龍嘯けば雲おこるとかや、靈氣は大龍をものせてゆくらんかし。

▲選者曰　飛趣掬すべし

▲錦の鳳輦　大阪　富永　才子

今し日の大神の還幸を、供奉しまゐらする夕雲の、濃紅淡紅の艶なるは、若き官女の粧ひか、ゆかりの色に權に黄は、近侍の臣が直衣にや、五彩の光燦として、光明遍照、あたりまばゆく見るうちに、錦の鳳輦すぎ行きて、程もあらせず、夜の帳幕は下されぬ。

▲選者曰　美くしき夕べの雲よ

▲濃艶絶美　東京　濱田　直子

富士の裾野に横たはる雲、青海原に棚引ける雲、希望の光輝く曉の空飾る雲、夜半に月影被る雲、何れもとり〳〵に趣はあれど、別て美しく覺ゆるは夕暮に見る雲の姿にこそ、麗なる夕つ方の空を仰げば、斜陽燦然たる金箭を射ちて、西空にさ迷へる幾多の雲に照映へ、或は紅、或は黄に、或は桔梗と樣々に彩りなして半天恰ら天津女神の織なせる綾錦かけ連たらん如く、濃艶絶美、譬んにものなし、さる程に、夕陽の光いつしか淡れ、女神の御船なす三日月は、紫水晶の山の端洩れて徐々に登り行く。

▲選者曰　文また濃麗、但し絶美とまでは行かず

▲村しぐれ　山梨　小尾玉代子

見給へや彼の山の峰に怪しき雲の顯はれ出てしよと人々立さわぐ間に御空は墨を流したるが如く、俄かに降出す村時雨、農夫等は今迄照り輝きたる日影を賴みに刈りほしたる早稻晩稻、今を堪へじと老ひたるも若きも走り廻りて之を束ね、馬よ牛よと己が家々に運ぶ、其狼狽一方ならず、暫くして風伯怒を起し、忽ち拂ふ滿天の浮雲、世は再び光明の世界となりぬ、農夫等の喜び云はん方なし、あはれ此雲てふ者のなかりせば、かゝる憂ひもなからましを、雲ありてこそ雨もふるなれ、雨ふりてこそ草木も茂り、田畠によき收獲も得るなれ、之れ皆一利一害の然らしむる處ならんや。

▲選者曰　農夫が取入れに立騷ぐさま見るが如し、

▲曉天の雲　群馬　伏島たき子

風の名殘は落葉にしるからんとつとめて起きいて、雨戸操り開けば曉寒く思はず襟かき合せぬ、空には溯墨の如き雲樣々なる形して西へ〳〵と行くやうなり、兎角する間に向ひの山の端あかう、雲はいつしか美しきこがね色となりければ、いざ朝清めせまし、先家の内よりてそと、暫し時を過したれど朝日未ださしいてず今朝は思ひの外早かりき、庭の落葉掃き寄せんと、ふと空打ち仰げば、あな暮りにけりな、日かげ射さぬもことわりや、おほへる雲は雨にやならん。

▲選者曰　雲そのものを描くこと精しからずと雖も趣味深く書かれたるは嬉し

作歌披露　題「落葉」

○　大阪　山中　盆子
ひとゝせにふたゝびものをおもはせて
　ちるはさくらのもみちなりけり

○　京都　渡邊　豊子
からにしき染し木の葉のふるさとは
　あはれそへてちる木の葉哉

○　東京　戸塚　鐵子
山寺の鐘もひゝきて木からしに
　ちるもみち葉の數ぞしられぬ

○　愛知　山田　靜子
はらへともたえすちりしく紅葉に
　庭の下草うつもれにけり

○　埼玉　山口　匡子
しはらくははく手とゝめてもみち葉の
　ちりしく庭にものおもふ哉

○　三重　栃田　濟子
朝ことにはき清むれといつかまた
　落葉に埋む山すみの庭

○　山形　阿部さゐ子
ひとしほのなかめなりける庭の面は
　ちるもみち葉のにしきかさりて

○　茨城　綿引　節子
きのふまて秋のなかめとうれしみし
　庭のもみち葉おちてあとなし

○　茨城　綿引　磐子
秋ことにうれしみふかきもみち葉の
　梢あらみてきのふけふかな

○　山梨　小尾玉代子
一すちの道は落葉にうつもれて
　とふ人もなし里のひとつ家

○　愛知　市橋いく子
神無月さひし玉垣たまさかに
　おとするものは落葉なりけり

○　鹿兒島　山崎とよ子
柴おひてかへるおきなか笠の上に
　木の葉ちるなり谷の山道

○　長崎　葛原　梅香
むらしくれ洗ひ清めし庭の面に
　またふりかゝる木々のもみち葉

○　岡山　谷　とめ子
ちりしきて色またあせぬ紅葉は
　はらうもおしき心地こそすれ

○　東京　吉野　鐺子
秋にもまさるなかめなりけり
子らかはくあとを埋めてわか庭の
　はゝそのもみちまなくちるなり

○　大阪　富永　才子
いひしらすゆかしきものは文机の
　上にちり來しもみちなりけり

○　群馬　伏島たき子
おこたりと人やみるらん朝きよめ
　はてしはかりの庭の落葉を

○　東京　長嶺　錠子
さらぬたにさひしきものを神無月
　木の葉しくれのふらぬ日はなし

○　東京　浦　月子
にはかにもふきたつ風かわか宿の
　ちしほの紅葉ちりはてにけり

○　東京　濱田　直子
そよとふく風にもたへてもみち葉の
　ちりしくときぞあはれますらん

○　大阪　佐野　眞子
ふく風に木の葉はちりてきのふけふ
　冬のあはれのさまも見えたり

○　鳥取　近藤　靜子
園もりのはらふあとよりかつちりて
　ころ裳手さむく見ゆる朝かな

○　北海道　西　久　子
國のためさきたつ人のともにとや
　ちりいそくらん木々のもみち葉

○　福島　曳地なを子
冬枯のあはれを人にしのばせて
　ふく風寒く落葉ちるなり

○　岩手　山口ます子
うす墨にゑかきやみまし夕月夜
　かけもかすかに落る木の葉を

○　長野　金野やほゑ
夕風は梢わたりてはゝ木もつ
　おきなの袖を落葉うつなり

○　東京　岡田　春子
初霜のおきわたしたる庭の面に
　もみちのにしきちりみたれつゝ

○　靜岡　伊藤みち子
小夜ふけてとふ人もなき山すみの
　窓をたゝくは木の葉なるらん

○　靜岡　清水　初子
あれはてゝとふ人もなき柴の戸に

◉第十六回作歌募
△歌題　初霜　△選者　某公爵夫人　△作歌數一人一題三首以下　△期限十一月廿八日限り　△優等の作歌は本紙上に披露す可し

◉第九回短文募集
△題　故鄕　文體隨意　△選者　編輯局同人　△一行十八字詰十五行以下端書に認めたるものは採らず　△期限十一月二十八日限り　△優等の作は本紙上に披露すべし

◉第十七回作歌募集
△歌題　浦千鳥　△選者　某公爵夫人　△作歌數一人一題三首以下　△期限十二月十日限り　△優等の作歌は本紙上に披露す可し

◉第九回短文募集
△題　歳晩　文體隨意　△選者　編輯局同人　△一行十八字詰十五行以下端書に認めたるものは採らず　△期限十二月十日限り　△優等の作は本紙上に披露す可し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

コクカツーシヨール

本品は絹裏製にして最も優美高尚の品に有之候
本品は丸形○平形○(鶴オシトリ)羽根付の三種有之候
本品には一々如上圖商標を付し候間御買取の節は御注意被遊度候

本品は全國到る處洋毛織物店西洋雜貨店。洋小間物店等總てショール(肩掛)類を取扱居候店には陳列致し有之候間御最寄にて御高覽の榮を賜り度候

特約販賣店

大阪東區瓦町四丁目
服部富三郎
特電話東七〇二

大阪市東區淡路町四丁目
吉阪元次郎
特電話東一三六二

東京市日本橋區本町二丁目
中喜ネル店
特電話本局七五〇

大阪市東區心齋橋筋安土町四丁目
中喜支店
特電話東一七九〇

東京製絨株式會社
日本フラネル製造株式會社
島田毛織物製造所
品川織物株式會社
製品特約販賣店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎地方の讀者に告ぐ
發行所より直接に郵便にて發送を受けらるゝ方の帶紙に朱印を捺せしは前金切れの印しなるに付き速に御送金被下度候

東京買物取扱

◎地方の會員幷に讀書に告ぐ

◎當發行所は歐洲の家庭雜誌社の例に倣ひ我が會員及び讀者の便利を計るが爲あげるに東京で賣る品物は何んでも買つて送つてと云ふことにいたしました

◎素より營利の目的でする譯ではありませんから手數料等を皆樣から取るやうな事は致しません東京で賣る價に運送賃を添て送られゝば直ちに買入れます

◎發行所は可成家庭の爲になる品物を最も廉價に買つて確實と迅速と丁寧とを旨として送る積りでこれに依て會員幷に讀者の便利と幸福を增さんとの考へてす

◎何んでも買ふと申しても餘り漠然として居りますから左の品物類を主として取扱ふ事に致します但し此以外でも特別の申込は成べく受ける事に致します

取扱品目

◎呉服類　◎化粧品類　◎小間物類　◎音樂器類　◎家庭用小道具類　◎學校用器具器械　◎書籍類　◎西洋粧飾品類　◎西洋食器類　◎裁縫器械

好評　三版

婦人の慰問使

一部　金十錢　郵税不要

奥村刀自は滿州よりして歸朝されましたが皆樣に一々面會して御話なさる譯には參りませんが滿州軍慰問の狀況は此書に詳かに書てあります各縣の支部中には幹事方に配る爲めに多數買込まれた處もあります

新案カルタ形家計簿

一組百枚　郵税共金拾五錢

◎家計簿の作り方はなるべく簡單にして手間取れず且つ正確に落なく記帳の出來る仕組の者で無くては役立ちませんが本簿は此に注意し簡便なものに作りました

◎家計簿には往々記帳落が出來て困るものでありますが朝に拂つた金も夕には忘れて仕舞ひ勘定合ふて錢足らずと云ふことになりますが本簿はこの憂がありません

◎家計簿に日々の出納を記載すると云ふ事は極めて面倒な事柄でありますが併しこれは是非共記帳せねばなりませんが本簿は此面倒な事の無いやうに致しました

◎此家計簿に依つて得らるゝ利益は種々ありますが便利な爲に時間が省かれ支拂が正確に且つ間違なく載せる事が出來從つて家計をして裕かに營む事が出來ます

東京麹町區飯田町一丁目
愛國婦人會内
愛國婦人發行所

新聞の新聞

◉時事新報　今度の論功行賞は下士卒を先にして將校を後ちにする方針なりと云ふ事であるが而しこれは內輪話してあつて未だ公然と發表された次第でもない他事は兎に角く此一事丈けは是非共實行を希望するのみならず結果のなるべく速に發表されん事を望む凡そ將卒の勳功は机の上の調査討論を經て始めて定まるものでなく實地で感狀を與へるものさへある程なれば遂に出來ぬ事はない筈である且つ早いと運ひのでは心に感ずるにも差等があるからなんでも早いがよろしい（十一月十三日社說）

◉日本　大廟御參拜との題目を掲げて論じて曰く陛下の御感德は無信仰の人民をして尊奉する處を知らしむる一事に於ては其及處深遠である戰爭の原因は武士道であると云ふが武士道は則ち祖先の遺勳の集積する所であつて武士道の貴ぶべきを知れば自ら先祖の威靈を感受せなければならぬ我が聯合艦隊司令長官が凱旋の第一着として伊勢の大廟に參拜したのは彼の不朽の海戰の報告と對照して祖先尊崇の效を發輝したものと云はねばならぬ聖天子上にありて神靈の尊ずべきを知らしめ賜ひ東郷大將之を受けて事實を民衆に示す今や社會民衆は全く無信仰に陷り善惡の標準頗る混沌を免れざるの時にあたり祖先尊奉の效を際ふる事は救世濟民の術として最も其要を得たるものである（十一月十四日社說）

◉報知新聞　今より三十年前に於ける倫敦の馬車や牛乳や皆な個人の經營であつたが今日では大社會で之れを經營することになつた是れ小規模なる商業界か大規模となれる變遷の規擬である、幷處で我國の商工業界も階級の規模を增大しなければ富を增すことが出來ぬ戰爭の結果我國の名聲大に揚り世界到る所に我が物産を歡迎するの傾向がある此機に乘じし奮勵一番すれば我が物産の販路は大に擴張さるると思ふ況んや支那に於ては輓近漸く歐羅巴の文明を採用し隨て其の物産を需用する風がある此に於てか利に敏き米國人は雄大なる富を以て太平洋に跋扈するに至る可く英國も獨逸も亦是れと競爭を試むるに至らん我國が此間に介在して何等施す所がなかつたならば國家の前途は實に危きものであると云つてもよい願くは此趨勢に鑑みて奮勵一番競爭場裡に力を致さんことを（十一月十一日戸水博士所論）

◉萬朝報　凱旋陸軍の歡迎に就て國民は彼等の偉大なる成功と辛勞とを感謝すると共に全力を傾倒して是れを歡迎するは云ふまでもなきことであるが吾人の思附きたる歡迎方法は下の通りである（一）東京大坂の如き大都會を除き師團旅團又は聯隊の所在地では縣又は郡の費用を以て歡旋門を作るも可軍隊の行列を行ふも可大宴會を開くも可（二）師團旅團聯隊の所在地では右に引續きて招魂祭を行ひ生者を歡迎すると共に死者の勳功も忘れてはならぬ（三）師團も旅團も聯隊もなき町村は其町村から出征した者を歡迎し金品感謝狀を贈るも可歡迎會を開くも可而して是等の兵士が滿韓より齎したる新智識乃ち其の享受したる實物教訓は殊に町村民の聲價すべきものである故に出來得る限りは勞と財とを惜まず歡迎する事是れである（十一月十六日社說）

◉二六新聞　兵役は國民の義務であつて國民にして此國の任に當るのは當然であるとへば夫れ迄であるが此時我國の多少なる二十七八年役、北清役幷に今回の戰役と三回も續けて出征した下士卒がある是れ等に對して政府及國民たるもの篤く報ゆる所がなくてはならぬ現今の制度に於て士卒の勞に報ゆる途一にして止まらずと雖も何うか二回以上從事した者には更らに夫れ丈けの優遇をせなければならぬ是れ實に忠勇なる國民をして長へに忠勇ならしむる所以の道である夫の兵役は國民の義務だと云つて士卒の辛勞に報ゆるを避けんとするが如きは共に談ずるに足らぬ輩である（十一月十日社說）

增補再版

愛國婦人會例規類集草案

今般更に增補訂正の上再版出來せしにつき希望者は速に申込ありたし

一部金拾貳錢

本書は曩に本會第四回總會紀念號として發行せし處忽にして缺本となりたるによりて

東京市麹町區飯田町
愛國婦人發行所

十壹版　ドクトル佐伯理一郎（總ふりかな附）

看病學

正價金六拾八錢▲郵税金拾錢

袖珍　ドクトル佐伯理一郎譯（挿圖百卅七）

戰時平時救急看護

正價金參拾五錢▲郵税金貳錢

二版　ト平文柳著（總ふりかな附）

家庭看病法

正價金五拾錢▲郵税六錢

拾版　ト平文柳著（總ふりかな附）◎看病法修業用

人體解剖生理

正價金五拾五錢　郵税六錢

◎發兌元　東京市本郷區龍岡町三十四　吐鳳堂書店◎

ラクダ印麝香石鹸（は高貴なる麝香に愛すべきミレ（スミレ）の香料を多量に含むが故に壹度使用せば其香氣身体は元より手拭タオル、ハンカチーフ及び浴後のゆかたに至るまでうつり香いたし五日間は腹部としてかほりを失なはざる効力は舶來品にも未だ見ざる一大特點を有す）

○定大形廿錢　小形拾錢

（熱心勉强なる和洋小間物賣藥化粧品店にて必ず販賣せり）

近來類似品有「ラクダ印」と井上に御注意

東京本石町三丁目十八番地　井上太兵衛

玉善油

二十世紀之新衣裳

發賣本舗　日本橋區よし町（電話浪花五六八八）玉川屋

高等香油

チエリーオイル

紳士貴婦人令孃用

品は無色透明さらくとして此の如く香氣は香水に異ならず故に紳士は勿論、貴婦人令孃方に目下大ゐに流行せる彼の束髮用としては最常に高評を博しつゝあり

定價八十五錢、四十五錢、廿五錢（送料各十錢）

賣捌は全國有名なる小間物化粧品店にあり

發賣元　東京日本橋區本町二丁目　高橋初次郎　特電四一二三番

明治三十九年用

吾家の歴史

定價折皮七十錢布三十五錢郵税六錢

日記の如何に有益にして、必要なるかは、亦多言を要せず、『吾家の歴史』は一日を往來に爲したる事、得たる思想、詩歌と、格言と、社會の出來事、雜事の諸欄に分ち、殊に其日に起りたる歴史上の事實を記載し、たる事を其日に起りたる歴史上の事實と云ふべき記載し、月の終には、趣味頗ぶる至れり盡せり、日曜表と訓言とを每月の終には、會計表と、結婚、誕生、永眠等の家券を添へ、巻頭に宿所姓名表を附し、卷尾には、日々必要を感ずる法令、其他の便覽を附したり、其用意の周到と注意綿密なる、蓋し稀に見る處の日記簿なり。

發兌　東京京橋區尾張町　警醒社書店

東京市日本橋區小舟町三丁目
株式會社　第三銀行
電話（特）浪花四四二番　浪花四五一番

預金利子
定期預金　六ヶ月以上　年六分
當座預金　百圓ニ付日歩　壹錢
別口當座　同日歩　壹錢貳厘
全國送金手數料

數代老舖　蟲害豫防實施

簞笥目錄進呈（正價付販賣）

東京市日本橋區小傳馬町一の三
長島屋　長谷川簞笥店
電話浪花一四三五番

正札附　廉價販賣

意匠斬新
くし、笄、かんざし
リボン、ヘーアピン、
サイドコム

東京市神田區須田町十番地
美術小間物商　三ツ井屋
電話本局二〇七六番
支店　（新橋ぎわ博品館内　神田神保町東明館内）

○銀側兩蓋之部　流行滿手形
價八圓半　瑞西石入向爪アンクル
價十圓半　同惣石卷上向アンクル
價十三圓半　同裏三枚惣石卷上向爪
價十四圓　米國中蓋付切天武向爪
價十七圓半　米國中蓋付上等品

○金側兩蓋之部　流行滿手形
價三十三圓　瑞西國十八金側御婦人持
價六十九圓　瑞西十八金側中形紳士持
價七十九圓　米國製十八金中形紳士持
價九十五圓　瑞西18金側形18紳士持
價百十五圓　米國製18金形18紳士持

商品案内無代進呈
東京市京橋區銀座一丁目
電話新橋（二三三一）
伊勢伊時計店

慢性頑固症

◎內科婦人科專門

院長ドクトル　松井滋雄

一喘息、（病原的治療）肺、氣管支、助膜、一腦神經及血液諸病、産後の諸病、流産の癖及姙娠、胃腸、神經痛、リウマチス、

（入院隨意）外來診察自午前八時至正十二時往診午後一時より

上記の疾病は小生醫科大學卒業後殆ど二十年間專心研究したる者にて血液檢査其他原因的診療をなすを本院の旨とす

東京日本橋元大工町十五番地仲安跡
松井內科婦人科醫院
（電本三二一九九）

雜誌の新聞

◎妻となるに就て　女は妻となりて始めて其智徳を圓満に發輝すべきものであると同時に夫が己の理想に適するや否やを識別して百年の運命を誤ぬやうにせねばならぬ日本の如く相手の人を知らざる結婚は恰も投機相場を營むと同じである故に仲人の言を信して結婚するか如き風習は斷じて止めねばならぬ其代り本人相互の人物を識別し得る便利を與へ相互の意思確定の上結婚すへき事を勸めねばならぬ尚結婚の儀式は結ぶの神たる出雲の神の社前又は各家に祭れる神前にて行ふがよからんと思ふ扨て妻となつては自個の權利を侵害されぬ限りは何處までも從順でなくてはならぬ妻たる時代に積極的に智能を働かせ其性情の美を發輝さし姑となつては全く消極的態度を執らねばならぬ財政の許す限り別居するがよろしい別居が出來れば妻の仕事に關係せぬやう心懸ければならぬ（女鑑十五の一一伯爵柳原義光氏所論）

◎蹂躪せられたる婦人の權利　慣習上の形式に於て具備したる結婚而も子まで貰けたる一婦人が近頃離婚沙汰となり法律上離婚否認訴訟を起さんとするに當つて法律上結婚の屆出なき男女の關係は夫婦關係生ぜずとの理由の許に斥けられた之に依て見ると從來の形式たる仲人も結納も三々九度も神宮奉齋會も一切無効である實際に於ては正當の結婚で正當の夫婦と我も人も認めたる男女關係が屆出の手續が欠けたゝめに法律は夫婦と認めぬと云ふは法律は實に奇妙なものと云はねばならぬ殊に此法律は世間の實際たる慣例に反して居て結婚後直ちに屆出する者はないから法律は婦人の權利を保護するよりも男子を保護する場合が却つて多い次に否認訴訟は起されぬとしても損害賠償愛戀に對する慰藉料及び名譽毀損に對する賠償は取れるかも知れぬがこの賠償さへ認ぬとなれば婦人の權利は實に男子の脚下に蹂躙された譯けてある（家庭雜誌三の十一號堺利彦氏所論）

◎庖厨と數量　食器及柄杓子等家庭に於ける日用の器具の容量を一定したい其方法の一として柄杓は東京市中は水道故短ひ口のある三合入れの柄杓代りのものを作り一合と二合の所にも記をつけて置きたい杓子は五勺入に造つて汁の加減等を正確に量られ得るやうしたい米丈は必ず桝を用ゐるが一々量る不便を除くために米櫃に前以て一斗五升及二斗の所に印をつけて米を買ふには必ず升目で注文するがよい酒屋の正直でないには困るが透明な硝子瓶に一升の所に記しをつけ置けば間違ひない醤は何處でも賣つて居るが臺所には必ず備付を要する其他臺所の整理上種々な形ちの瓶を止めて一切同し形に改めるがよろしい（十一月三日家庭の友三の八社説）

日本第一の大勸工場

本場の特色
本場はあらゆる內外の商品を陳列販賣す
本場は正札付品質精撰價格低廉の率先者なり
本場は多少に不拘御買上品は市內無賃配達す
本場は物品切手を發賣し御望次第何品にても引換をなす

東京新橋角　帝國博品館
電話新橋一六五二　二二六一

高等女學通信教授目下入學の好機

大日本淑女學會

講義錄第一號十月廿日發行
詳細なる規則を要せば端書にて申越さるべし直ちに郵送するものとす
（規則）

本會講義錄之特色

▲女學通信教授　事情がありて高等女學校に入る事の出來ぬ人の爲めに『女學講義錄』を發行し僅かに二ヶ年の間に、高等女學校の程度の敎育を授けます。近頃都門學生の風儀が大變に紊れ。婦人の遊學は益々危險になりました。此場合女學講義錄ほど安全な修學機關はありますまい。

▲講義と學費　本會講義錄は文部省の全課程によつて高等女學校の全課程を說くのは勿論ですが。更に本邦家庭の事情に照し。一家の主婦として缺くべからざる實用の諸科を說きます。それから本會の會費は最も少額で。都會一ヶ月の遊學費があらば優に全期を終る事ができます。

▲興味多き講義錄　世間の講義錄は皆乾燥無味で少しの面白い味がありません。本會講義錄は此點に注意し。諸學科の講義且つ有趣有益なる數十頁の雜錄の外に。名高い文士の筆になつた請い美くしい。家庭小說を每號附錄として出します。

▲親切なる講師　本會の講師は皆斯道專門の大家て且つ敎育に充分經驗のある方のみです。講義は。只親切と云ふ事を主として丁寧懇篤に說いてありますから。本會々員は親しく講師の膝下に在りて講義を聞かれると同じ事です。尚博士學士等三十餘家の科外講師があります。

東京神田南甲賀町十番地
（電話本局三千四番）
大日本淑女學會

東京本郷

かねやす
電話下谷一三三六番

見よ!!!
音樂新報　菊花號
歡聲
天長節　發行
定價金拾五錢郵税不要
東京神田錦町三丁目十一番地
音樂新報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

御披露

本場 御徳用御經濟向 秩父銘仙織 特約販賣

今回産地織元と特約相成立ち優等品を撰擇し他店になき廉價に販賣可仕候御注文の節は電話又ははがきにて御申越被下候はゞ見本早速持參可仕候

地方御注文は御年齢を御通知被下候はゞ品質柄行の見本を御送附可仕候（但し郵券十五錢を要す）

東京市本郷三丁目（眞砂町通り）

さかいや 大 井上呉服店

電話下谷一二八五番

新花王おしろい

トイレット ウオイア入 白

奇効卓絶

本舗東京 脇屋喜八郎

花王石鹸

品質善良 衛生ト經濟ニ適ス

米國聖路易萬國大博覽會名譽銀牌受領

本舖東京 長瀬富郎

關西代理店大阪大崎組商會

胃病良藥 太田胃散

日本橋區堺町通ふきや町

◎世界のしんぶん

◎英國の交通　は甚だ完全にして英國にては最も田舍なるファーレイガム、ヒツトンといふ村はステーションに行くに十二里ありて是が一番汽車場に遠き地なりといふ、

◎聾婦人倶樂部　といふ頗る珍奇の倶樂部こそ現はれたれ伯林市に起されたる婦人の會にして會員たらんとする者は必ず聾なるを要し既に會員百人以上あり同市ウイルヘルム町の美麗なる堂に毎週一回の會合を開き此處にて聾　鼓（みゝのよくきこえるきかい）と手まねとにて話し茶を呑みて樂むなりといふ、

◎麥酒　の消費高は重なる七箇國のみにても五十六億ガロンに達する由內譯は獨逸にて十七億八千七百万ガロン、大英國にて十五億百万ガロン、合衆國にて、十四億九千四百万ガロン、オーストリヤ四億九千二万ガロン、フランス二億八千九百万ガロン、イタリヤ六百万ガロン、ハンガリー三千八百万ガロンの消費高なりといふ是は昨年の調べなり（ガロンは我二升五合許なり）

◎大なる珍島　はアルゼンチンにありて世界一なりといふ、此の島は廣さ百平方哩ありと

◎南亞弗利加　は世界一のダイヤモンドの産地なるが年々其地にて摘み去らるゝ玉の價は二百万圓以上なりといふ

◎紡績絲　の最上等のものにて一番細きはベルジユム國のレースを織るに用ひらるゝ由なるが其價時には百二十匁に付我二千四百圓なる事ありといふ黃金でもかなはぬ價ならずや、

◎丁抹國　の土着の人民にて其國に生れたるものは老年になりて自身又は家族を養ふ事能はざる時は一箇月五圓より九圓迄の養老金を受るなりと結構なる國といふべし

◎奇珍な賞典　北米國リヨーグランド河にかゝりたる鐵橋にて汽車の顚覆せんとする處を一發見の勇氣によりて助けられたる事あるが其行を賞せんとて其鐵道會社よりは生涯有効なる無賃乘車券を與へ、富豪ヘレン、グールド孃は同人學業の費用を支辨する事となりたりといふ、

◎大製紛場　はカナダ國モントリアル市にありて英帝國中最大なるものなりと此工場にては每日五千樽の麥粉を製するといふ

◎古き藥屋　にて七百年間絕へず營業せるもの獨逸國ストラスブルグ市にあり、其店の名を「サイン、チブ、スタツグ」と云ふ

◎大鹽塊　ハンガリヤ國には山鹽多きが其內最大なるは一塊の鹽にて五百五十哩の長あり幅二十哩に及び厚さ十呎なりといふ、こは同國ガリシカ州の地下にありとぞ、（本年七月五日愛國婦人當欄地下の町の條參照）

凱旋ハンカチーフ 紀念風呂敷手拭

●大和田建樹君作凱旋唱歌入ハンカチーフ●日英同盟紀念半巾●大觀艦式其他各種●毛糸エリ捲格別の安價にて販賣仕候

圖案は凱旋門軍旗肖像詩歌式紙形其他嶄新奇拔なる意匠を凝し石版木版寫眞版等數柄生地は絹綿紋羽二重キヤラコ金巾縮緬御名前入函入一打入半打入一枚包各種出征軍人慰勞の爲め特別廉價に調進仕候見本御入用の方は御通知次第郵送可仕候除隊土産凱旋すゞ六ハンカチーフは實用美術經便遊技經濟の五德を兼ね進物用最佳品

凱旋軍人歡迎旗

生地新モス
●幟形立鯨一丈巾二尺　正價金六十五錢
●フラフ形流五尺巾四尺同　金七十五錢
●絹羽二重寸法右同樣金三圓五十錢ゟ上
四圓五十錢紋羽二重四圓ゟ上五圓也

東京日本橋元濱町 電話浪花九一八番
ハンカチーフ 風呂敷 問屋 高橋政右衛門

山崎彌栄著 近來流行せるハイカラ婦人界を調査し實に新來の珍書天下の女子又は家庭の大參考書なり　洋行實話美製全一冊大好評なり正價四十錢 郵税六錢

洋行土産 珍聞奇觀 ハイカラ婦人

久く歐米漫遊中各方面ハイカラ婦人社會の眞相を實見し其事實を悉く寫出せし天下無類の讀物日本ハイカラ婦人と相對照して思ひ半ばに過ぎん

東京京橋桶町廿一番地 廣文堂書店發行

佐竹組本舗

めをゆしハミガキ

少華族

徳田秋聲著

上編既刊（平福百穗畫）
下編新刊（結城素明畫）

愈よ出で、愈よ奇に、變幻不可思議思料すべからざる浩然會の狀態を、一青年小田垣還に藉りて說明せる本篇は、殊に下卷に入りて其不可思議なる妙諦を讀者が眼前に披瀝して餘蘊なし、

▲實價各六拾錢 郵稅各八錢

東京 春陽堂 日本橋

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

各女學校御用
美術造花材料各種
東京日本橋區横山町一の十六
天野卯兵衛商店
（電話特浪花一六四三番）
營業案内は往復葉書にて御申込次第送呈仕り候

私立日本音樂學校生徒募集
東京市神田區錦町三丁目十一番地

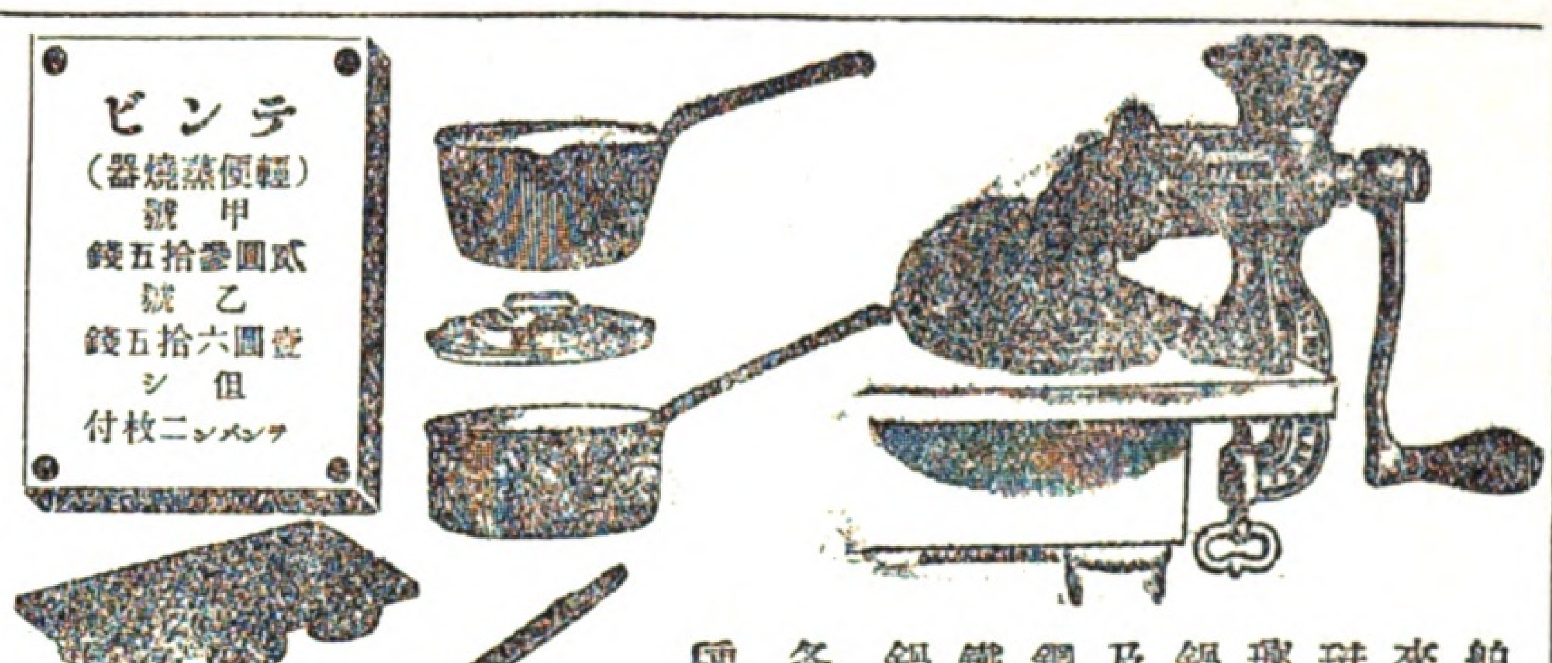
かすり
紺かすり各種
紡績絣。金城絣。
米澤絣。大島絣。
秩父絣縞とも
外縞物いろいろ
神田區大通新石町十九番地
京屋
電話本局二八四二番

村井弦齋著 第十一版出來
實地經驗 台所重寶記
定價八十錢 郵税十錢 臺灣清韓三十錢
發行所 東京麹町區有樂町二 報知社出版部
發賣 東京銀座通新橋際 新橋堂

●色白く艶をだす
松澤 ホーサン石鹸（大形廿錢 小形十錢）
●近頃にせ物多し御買求の節は商標及松澤名義に御注意
東京本石町四丁目
芳香藥種問屋
ムスク香水本舖
松澤常吉

洋食料品 洋菓子 化粧品
亞米利加屋
村上堅吉
神田區今川小路二丁目四番地

●佛國ベール會社ルイナルト、シャンパン
東京市芝區櫻田本郷町十番地
西洋食器食料品商
堀口商店
（電新二九〇六番）



舶來琺瑯鍋及鋼鐵鍋各種
西洋料理用並ニ食卓用器具一式
テーブル掛ナプキン各種
直輸入廉價販賣

見よ 海軍省秘藏寫眞
海軍凱旋寫眞帖
◎見よ◎本誌には福永海軍技師が御召艦淺間に便乘し御供奉艦龍田に便乘
觀艦式の御用撮影を爲しこれを宮廷及各宮樣に奉獻せし
大紀念品を掲載す御親閲の壯觀時々刻々活現其他滿艦飾の壯觀電燈飾の光景眞に世界空前の盛觀皆此一冊に集る他と比較して眞價を知れ！
◎見よ◎東郷大將凱旋の百景
十一月十日刊 廿錢 郵税貳錢

幸福に達する道
實業之日本社編纂◎口繪には家庭寫眞種々燦爛たり
日本富豪の家風
◎一家の幸福と繁榮は家風の健全に在り本書は三井▲住友▲鴻池▲本間▲市島▲澁澤▲安田七大家の（來歷）（家庭）家憲等を詳叙せるもの家政の刷新を望む者は必讀
◎全一冊美本…
◎正價五拾錢
◎郵税六錢…
◎但し切手代用は一割增の事…

最も婦人向
日本石油會社會計課長竹田常治君新著（一名節儉の友）
實用家計簿記
▲第一分り易く▲第二行ひ易く▲第三簡便にて一讀直に應用するを得べし
◎全一冊大版…
◎正價四拾錢
◎郵税六錢…
◎但し切手代用は一割增の事…

空前の大歡迎
職業大觀。
▲オギヤア一出歡迎湧くが如く發行部數空前の多數に上る眞に是職業の福新音
▲一日も早く職業を得よ夫れには一日も早く本書を讀め就職の巧拙は成敗の分岐點
▲立身出世昇進發展を望むの父兄子弟求職者在職者皆とく讀め
▲大好評▼
◎實業之日本臨時增刊
◎正價貳拾貳錢
◎郵税貳錢切手一割增

東京京橋南紺屋町十二番地（電話新橋八百七十四番）實業之日本社 全國賣捌所は各地書店

（第五回内國勸業博覽會褒賞受領）
東京市京橋區銀座三丁目
八 松澤商店
賣捌諸々小間物店藥舖賣藥店にあり

女子高等師範學校附入學案内
入學試驗問題集（價郵税共二十錢）
東京小石川區茗荷谷町四十七 文育會

醫院案内（順ぐりの事）
内科小兒科
麹町ハヤブサ町二八
ドクトル 川瀬元九郎
電話番町八二三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市麴町區錢瓶町（常盤橋内）
日本興業銀行
電話本局（特）三〇〇番・四一番・三七番・一〇二番
一定期預金　年五分
一當座預金　日歩七厘
一特別當座預金　日歩一錢

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話（特）本局六七三番
定期預金 六ヶ月以上 年六分
當座預金 百圓に付日歩 壹錢
特別當座預金 同日歩 壹錢參厘

東京市日本橋區新右衛門町
第一生命保險相互會社
電話 本局二一 本局三七 七三 三七

◎御照會は總て返信用料を要す

◎牛豚肉販賣及西洋料理◎
◉品質佳良の肉類廉價に販賣候
◉配達は迅速に且つ正確に致候
◉滋養と風味の西洋料理調製候
◉西洋料理出前は格別相働き候
◉米店は精撰の白米廉價販賣候
◉御注文は電話又は葉書で願候
小石川表町廿二番地 電話番町六五九 西川本店
本郷區駒込東片町五番地 電話下谷二一七一 西川支店
小石川表町十一番地 電話番町一四六一 西川洋食店
小石川表町十八番地 米穀商 西川嘉門

新版 豆腐のお料理
全一冊廿八錢郵税四錢 繪入總かなつき頗る美な本
上野三はし、しのふ川主人編述 紙數二百頁
お料理の數わ百九十種で材料わ僅に一錢五厘の豆腐です料理わ各異い升から毎日食ても倦ない樣になつて居升衛生によく滋養充分て安くて美味是が實際の總菜料理です
次の四種の本わどれも皆六ヶ敷語の交らない假名つきて幼い孃さん達に解る樣に料理も極く手輕にして文字も大きく繪や心得等も書て有る實に便利な御本てす

新版 さつま芋お料理
全一冊廿八錢郵税四錢 繪入總かなつき頗る美な本
三世 屋中定吉翁編述 紙數百七十頁
芋と申すとイヤハヤと云る方が有升が其は料理の仕方が惡からの事此料理は其イヤハヤの方にも好れ婦人にわ申す迄もなく料理は甘い鹽いの種々て百廿種實に美味料理が出來升

第四版 漬物のおけいこ
全一冊廿八錢郵税四錢 繪入總かなつき頗る美な本
井上秋江女史著 紙數百十頁
お漬物のないお宅わ有升まい此本は其漬物を美味する漬方てす其と申して別に費が掛る譯では有ませんのが此本のよい所です同青物でも種々漬方をして家内中を嬉せて下さい

第七版 洋食のおけいこ
全一冊廿四錢郵税四錢 繪入總かなつき頗る美な本
メリー、カキルソン 大町松波女史合著 紙數百六十頁
此本の御評判が立ました譯わ材料が牛や豚に限ツた譯て無く費が少なく手輕で十三四の孃樣にても解ると申譯て其他に料理の心得や御客に出方食方等も書て有升實に便利な御本てす
發行所 東京神田小川町 電本三〇九六 寳永館

みみ 親玉
東京日本橋區長谷川町
卸部 美濃磯本店 電話浪花二八五九番
小賣部
本郷區本郷五丁目 美濃磯本郷支店
淺草區諏訪町 電話下谷一四一五番 美濃磯淺草支店
日本橋區佐内町 美濃磯佐内町支店
神田區小川町 美濃磯神田支店
深川高ばし際 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店

院長 醫學士 鳥山南壽次郎
鳥山内科院
午前診察 午後往診
京橋區鈴屋町十一番地 電話新橋千七百四十六番

小兒病診療
宅診午前 往診午後
淺草區福井町貮番地
醫學士 内田愼太郎
電話下谷七一八番

婦人科産科榊病院
院長 醫學博士 榊順次郎 毎日午前診察
副院長 醫學士 久保徳太郎 毎日夕刻診察
東京麴町三番町卅三（電話番町三九五）

◉耳鼻咽喉科診療
淺草區向柳原壹丁目貮番地（左衛門橋通横町）
中村醫院

◉産科婦人科
◉京橋區南鍋町一の一角
◉朝八時より正午 ◉夕五時より八時
醫學士 伊庭秀榮

内科一般
四谷區北伊賀町貮番地
前宅診 後往診 青木醫院
正七位 青木鏑之助

神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）
内科病特に腦脊髓神經疾患
峰内科醫院
院長 ドクトル メヂチーネ 峰秀世

◉産科婦人科學講習
十一月廿日より秋期講習開始
東京日本橋區濱町三丁目七番地
（電浪一六〇番）楠田病院教室

るゐれき 切らずになおす
◉心臟病 ◉脚氣 殊に腎臟病轉地不必要
◉診察 ◉午前
神田三崎町 新三崎橋前
千葉内科院

▲小兒學校生徒診察種痘 毎日午前
東京内幸町一ノ三 電話新橋四七四
三島醫院長 醫學博士 三島通良

耳鼻咽喉病 診療午後 自三時至七時
淺草區北三筋町五九（小島町電車停留場際）
白木耳鼻咽喉科院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十八年十一月廿日發行（毎月五日二十日二回）

洗用 ワツセル

●此ワツセルは油じみ油あか如何なる汚れでも採ずに必ず落る石鹸曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります
●用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し採ずに置き後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシヤツの如きは（拾貳匁）入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶解してかもじを洗う用に採ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具を拭き掃除にも有効です
定價 拾貳匁入 金拾五錢　六匁入 金八錢　袋入二錢

芳香御肌洗粉 ワツセル

●此肌洗粉ワツセルは常時歐米各國貴族社會に流行する芳香類を加味し製造せしものなれば朝夕御使用の方は香氣馥郁として肌持晴々す又おしろいしたを用ひずして御化粧が出來ると妙なり
定價最上 金七拾五錢　金貳拾錢　普通 五拾錢　六錢　參拾錢　三錢　拾七錢
英國製ワツセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ芳香ワツセル製造元
東京市京橋區三十間堀三丁目
三友商會
電話新橋千七百十二番

陸軍省御用來

銀杯 杯
定價表
御入用の節は御進附可仕候
東京市日本橋區室町貳丁目
木屋本店
漆器 蒔繪商 林九兵衛
電話本局 特九九七 一七一〇

寫眞撮影 淺草公園 江崎

歐米化粧品直輸入商
東京八丁堀一丁目（花屋敷通）
平尾分店
電話浪花一〇一一

大日本女學會

新案 家族あはせ

だれにでもできる 老人方でも子供衆でもカナさへよめれば仲間にはいれる 面白くためになる家庭的新遊戲 家内和樂のもとゝなります
五十枚一組 金拾貳錢 郵稅二錢 △郵券代用の△節は拾五錢
販元 東京本郷駒込西片町 内外出版協會

一 嶄新高尚肩掛長卷
一 巴里新流行高等婦人帽子。並にボーア
一 英國ビーハイ印毛糸並に玉スコッチ
一 凱旋軍隊玩具各種
一 洋花。リボン。レース流行コム櫛。香水石鹸白粉 其他西洋小間物一式
東京市京橋區銀座三丁目
伊勢與 三枝小賣店
電話新橋三九二七

洋酒食料品雜貨卸小賣
西洋酒食料品、シガー、シガレット、香水、石鹸、花車用器具及割烹用道具一式
直輸入
東京神田南神保町十三番地
櫻屋商店
（電話本局二四五二）

愛國婦人廣告取扱
京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田千代田町 博報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區八官町 廣告堂
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋箱崎町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜社
京橋區日吉町 帝國通信社
同區欄左衛門町 京華社支店

━ 戰勝紀念ピン ━

銀金の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちは各その胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。
定價 純銀製一個金三十五錢以上 （餘は御好み次第迅速調製可仕候）
手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝しあれば世の紳士たちは洋服に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。
此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候
宮内省御用達
東京市下谷區池の端仲町
玉寶堂
電話下谷 特九六五番 一二四四番

○肩掛 絹毛織 東花織 三德形 紀織 九重紋織 凱旋ショール類
○御祝用しごき地 守巾着 涎かけ 頭巾
○肩裏地 長襦袢 襦袢袖 たづな染絞り
○京都召御掛 元祿ひも 男襟卷 ネキタイ
三 半ゑり帶揚類 嶄新季節柄 元祿模樣好
新橋竹川町十二 本店 ゑり治 電話新橋二〇二七
神田表神保町一 支店 ゑり治 電話本局九五二番
出張店 ゑり治 新橋際博品館内下

中瓶
三八水は進歩せし化粧水の随一なり 効能は世間已に定評あり
花王石鹸本舖
東京馬喰町
長瀬富郎製品

●本會は十年來女學の通信教授に任じ本會の教を受けし者既に三萬二千人に及べり
●本會は伏見若宮妃殿下を名譽總裁に奉戴し鍋島侯爵夫人會長として會務を監督す
●本會講義錄の學科は諸名家が多年の經驗にて面白く解し易き樣工夫せるものなり
●本會の講義錄に高等科と簡易科とあり高等科は月謝四十錢簡易科は同二十錢なり
●今度新學期を開き簡易科は十一月五日に高等科は同廿五日に孰れも初卷を發行す
東京市麴町區下二番町三十七番地
大日本女學會 電話番町一三三〇
●詳細なる會則は葉書にて請求あれは又電話

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 愛國婦人會内

帝國圖書館 IMPERIAL LIBRARY

明治三十八年十一月廿日發行（毎月二回五日廿日）
明治三十五年三月二十七日（第三種郵便物認可）

宮中に召出されし我が會員

理事 侯爵夫人大山捨松
評議員 男爵夫人清浦錬子　評議員 東郷鐵子

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 愛國婦人會内愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社 秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN